

平成 2 7 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
II	笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目	3
1	教育委員会の運営状況	5
2	教育委員会が管理・執行する事務	14
3	教育行政基本方針・基本施策	16
(1)	自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	16
	基本施策	
○	自立した子どもの育成	16
○	豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	21
○	安心して学習できる教育環境づくり	25
○	人権教育の推進	30
○	学校施設等の整備	32
(2)	心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	36
	基本施策	
○	生涯学習による人づくりまちづくり	36
○	青少年の健全育成	40
○	人権教育・啓発の推進	44
(3)	創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	46
	基本施策	
○	芸術文化活動の普及・振興	46
○	文化財の保護・保存と継承	50
(4)	豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	52
	基本施策	
○	生涯スポーツの推進	52
○	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	55
○	競技スポーツの推進	56
III	評価委員の総合評価	60
IV	資料	66

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第6次笠岡市総合計画実施計画(平成27～29年度)に掲げた「安全で快適なまちづくり」及び「心豊かな人づくり」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育振興基本計画」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

(2) 方法

平成27年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

① 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載

② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

③ 事業概要

点検・評価項目の事務事業及び施策について、その概要を記載

④ 取組状況

点検・評価項目の事務事業及び施策について、目標を達成するための具体的な取組状況を記載

⑤ 成果

実施した事務事業及び施策の成果について、具体的に記載

⑥ 課題・方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

⑦ 自己評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

- A：予定どおり目標が達成された。
- B：概ね達成された。
- C：やや目標に達成できなかった。
- D：達成できなかった。努力を要する。

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

松 畑 熙 一	中国学園大学学長
竹之内 金 太	元岡山県立笠岡高等学校長
大 山 美智子	井原市立大江幼稚園長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

1 教育委員会の運営状況

- (1) 教育委員会の会議の運営
 - 教育委員会定例会及び臨時会の開催
- (2) 教育委員会の活動
 - 予算について市長意見聴取
 - 市議会への出席
- (3) 教育委員の研修等
 - 研修会, その他各種行事・会議への出席
- (4) 学校及び教育施設への支援
 - 教育委員による学校・教育施設訪問
 - 教育委員と教職員の懇談会
 - 教育委員による学校給食訪問

2 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針
 - 「笠岡市教育振興基本計画」を策定
- (2) 規則等の改廃
 - 規則, 要綱, 規程等の制定・改正等
- (3) 議会の議決を経るべき議案
 - 条例等の議案を審議
- (4) 教育関係予算
 - 教育行政に関する予算を審議
- (5) 教育委員会の所管に属する学校, その他の教育機関の設置又は廃止
 - 設置又は廃止を審議
- (6) 職員の任免に関すること
 - 教育委員会事務局職員の人事異動, 小・中学校長等の人事異動の内申について審議
- (7) 教科用図書の採択の決定に関すること
 - 教科用図書の採択
- (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱
 - 諮問機関の委員の委嘱
- (9) 市重要文化財の指定及び解除
 - 市重要文化財の指定及び解除を審議
- (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成
 - 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し, 報告書の作成, 議会へ報告, 公表

3 教育行政施策体系

基本理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策	個別施策
人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり	充実した学校教育が受けられるまち	自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	1 自立した子どもの育成	(1) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実
				(2) 幼児教育の充実
				(3) 特別支援教育の充実
				(4) 時代に即した学校教育の推進
			2 豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実
				(2) 健康教育の充実と食育の推進
				(3) 学校体育・スポーツ活動の充実
			3 安心して学習できる教育環境づくり	(1) 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備
				(2) 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立
				(3) 安全教育・防災教育の推進
	(4) 教育相談・支援体制の充実			
	4 人権教育の推進	(1) 教育・啓発活動の推進		
		(2) 教職員の研修の充実		
	5 学校施設等の整備	(1) 学校施設の耐震化事業の推進		
		(2) 学校施設の空調設備設置の推進		
		(3) 校舎等施設の整備と安全確保の推進		
	学びが人を育てるまち	心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	6 生涯学習による人づくりまちづくり	(1) 生涯学習の推進
				(2) 社会教育関係団体の育成
				(3) 公民館活動の推進
			7 青少年の健全育成	(1) 家庭教育の充実
				(2) 家庭・学校・地域社会の連携強化
				(3) 青少年団体の育成
				(4) 非行防止活動
			8 人権教育・啓発の推進	(1) 教育・啓発活動の推進
	(2) 人権教育推進組織の活性化			
	(3) 指導者の養成			
	歴史を守り文化・芸術を育てるまち	創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	9 芸術文化活動の普及・振興	(1) 芸術文化活動の振興及び交流
(2) 文化施設及び文化環境の整備				
(3) 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携				
10 文化財の保護・保存と継承			(1) 文化財の調査研究と啓発・活用	
			(2) 文化財資料の収集・整理	
いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち	豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	11 生涯スポーツの推進	(1) 各種スポーツ教室・大会の開催、地域スポーツ団体の支援・育成	
			(2) スポーツ推進委員活動の充実	
			(3) スポーツ情報の提供	
		12 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	(1) 施設整備及び充実	
			(2) 利用しやすい環境の整備	
		13 競技スポーツの推進	(1) 各種スポーツ大会の開催(主催)	
			(2) 競技会等の支援	
			(3) スポーツ指導者の養成、トレーナースタッフの確保	
			(4) 優秀選手の表彰	
			(5) 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市体育協会等との連携	

1 教育委員会の運営状況

教育長

(H28. 3. 31 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	浅野文生	H21.10.1	H27.4.1~H30.3.31

教育委員

(H28. 3. 31 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長職務代理者	廣井滋季	H22.5.21	H24.12.17~H28.12.16
委員	谷喜一朗	H13.10.4	H25.10.4~H29.10.3
委員	三谷信恵	H20.10.1	H24.10.1~H28.9.30
委員	石井啓式	H27.12.11	H27.12.11~H31.12.10

(1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回(前年12回)

教育委員会臨時会 3回(前年6回)

月日	定例会又は臨時会	議案	報告	協議報告・その他
4月22日	定例会	1	2	4
5月21日	定例会	1	1	3
6月25日	定例会	4	2	7
7月16日	臨時会	1		3
7月30日	定例会	2		2
8月11日	臨時会			1
8月20日	定例会	1	1	
8月26日	臨時会	1		
9月24日	定例会			10
10月20日	定例会	3		10
11月19日	定例会	1		3
12月18日	定例会	1	1	4
1月28日	定例会	1	1	6
2月18日	定例会	1		2
3月17日	定例会	9		3
計	15回	27	8	58

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて3回開催し、計15回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等、開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し、地域に求められる活動を進めている。なお、定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で、今日的・緊急的課題について、非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月22日	① 平成27年度教育行政重点目標について ② 教育長の職務代理者の選任について ③ 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
5月21日	① 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について ② 教育長の専決処分した中央公民館運営審議会委員の委嘱について
6月25日	① 笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ② 笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ③ 笠岡市社会教育委員の委嘱について ④ 笠岡市教育集会所運営委員会委員の委嘱について ⑤ 教育長の専決処分した笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ⑥ 教育長の専決処分した笠岡市立カプトガニ博物館運営委員会委員の委嘱について
7月16日	① 感謝状の贈呈について
7月30日	① 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について ② 感謝状の贈呈について
8月20日	① 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について ② 教育長の専決処分した笠岡市人権教育推進委員会委員の委嘱について
8月26日	① 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化について
10月20日	① 感謝状の贈呈について（その1） ② 感謝状の贈呈について（その2） ③ 笠岡市教育振興基本計画について
11月19日	① 平成27年度末校長・教員等人事異動内申方針について
12月18日	① 笠岡市教育委員会個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する規則の制定について ② 教育長の専決処分した森田思軒寄託資料取扱要領の制定について

1月28日	① 感謝状の贈呈について ② 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
2月18日	① 感謝状の贈呈について
3月17日	① 笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について ② 笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について ③ 笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について ④ 笠岡市幼稚園就園奨励事業実施要綱の一部を改正する要綱について ⑤ 公民館主事の任命について ⑥ 小・中学校長等の人事異動の内申について ⑦ 幼稚園長等の人事異動について ⑧ 教育委員会事務局職員の人事異動について ⑨ 感謝状の贈呈について

② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協 議 報 告 事 項
4月22日	① 平成27年度校長・教頭・養護・事務一覧について ② 平成27年度幼小中在籍数について ③ 平成27年度笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所等研究指定校園について ④ 笠岡市学校規模適正化計画の進捗について
5月21日	① 木山捷平短編小説賞作品募集について ② 笠岡市木山捷平文学選奨作品募集について ③ 学校規模適正化に係る今後の予定について
6月25日	① 平成27年度教育行政重点目標について ② 平成27年度笠岡の教育について ③ 学校等教育施設訪問について ④ 平成27年市議会6月定例会教育委員会関係質疑について ⑤ 笠岡市人権教育講演会について ⑥ 学習支援事業かさおかサマーチャレンジについて ⑦ 学習支援事業かさおかホリデーチャレンジについて
7月16日	① 平成27年度岡山県学力学習状況調査について ② 平成28年度使用中学校教科用図書候補について ③ 学校等教育施設訪問について
7月30日	① 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書(案)について ② 「笠岡へ愛着を持ち隊 結成だ!!」の実施について

8月11日	① 学校規模適正化に係る今後の予定について
9月24日	① 9月定例会市議会（代表・個人）質問について ② 9月補正予算について ③ 平成27年度「全国学力・学習状況調査結果」笠岡市の概要と今後の取組について ④ 平成27年度「いきいきオープンスクール」について ⑤ 平成27年度中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」について ⑥ 平成26・27年度笠岡市教育研修所研究指定校発表会について ⑦ 平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について ⑧ 笠岡市教育振興基本計画（案）について ⑨ 教育委員の視察先について ⑩ 学校等教育施設訪問について
10月20日	① 平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について ② 平成27年度笠岡市内小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催日時について ③ 学校等教育施設訪問（中期）結果について ④ 第11回笠岡市青少年スピーチコンテストについて ⑤ 第63回笠岡市文化祭，第38回笠岡市芸能祭，第40回笠岡市菊花展について ⑥ 第38回笠岡市青少年健全育成推進大会について ⑦ 森田思軒顕彰講演会について ⑧ 竹喬祭について ⑨ 津雲貝塚発掘100周年記念事業について ⑩ 教育委員の視察先について
11月19日	① 平成27年度笠岡市一般会計12月補正予算（教育関係）について ② 第11回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について ③ 平成27年度いきいきオープンスクール参加者数等結果概要について
12月18日	① 12月定例会市議会（個人）質問について ② 平成28年度笠岡市一般会計予算要求（教育関係）について ③ 平成27年度笠岡市成人式の開催について ④ 平成27年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査結果について

1月28日	① 平成27年度卒業式及び平成28年度始業式等の日程について ② 平成28年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込みについて ③ 平成27年度笠岡市学校給食展について ④ 第29回笠岡市人権・部落解放文化祭について ⑤ 笠岡市立六島小学校教育課程特例校の認定について ⑥ 平成27年度笠岡市成人式の開催結果について
2月18日	① 笠岡市立小・中学校卒業式の祝辞について ② 学校等教育施設訪問（後期）の結果について
3月17日	① 平成28年3月笠岡市議会定例会質問・回答について ② 平成28年度笠岡市一般会計当初予算（教育関係）の内示について ③ 平成27年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）の内示について

（2）教育委員会の活動

<予算について市長意見聴取>

総合教育会議において、新年度の教育費の予算関係を中心に市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
12月21日	市 長 室	平成28年度笠岡市一般会計教育関係予算について

<市議会への出席>

5月臨時会	2日間
6月定例会	6日間
9月定例会	7日間
11月臨時会	1日間
12月定例会	6日間
3月定例会	6日間
総務文教委員会	毎月1回

（3）教育委員の研修等

岡山県市町村教育委員会連絡協議会，岡山県都市教育委員会教育長協議会等の総会，研修会への参加をはじめ，県外への視察等も行い，直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月17日	平成27年度教育問題懇談会	岡山県総合教育センター

4月24日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回 定例会	笠岡市民会館
5月11日	平成27年度市町村教育委員会教育長等人 権教育連絡会	岡山県総合教育センター
7月3日	平成27年度岡山市町村教育委員会連絡 協議会総会	ライフパーク倉敷
7月22日	第1回岡山教育事務所管内市町村教育委員 会教育長連絡会議	ピュアリティまきび
7月31日	岡山県都市教育委員会教育長協議会（臨時 会）	ピュアリティまきび
10月8日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	岡山県立図書館
10月9日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回 定例会	井原市役所
10月21日	第2回岡山教育事務所管内市町村教育委員 会教育長連絡会議	岡山教育事務所
11月12日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会	くらしき健康福祉プラザ
11月20日	教育委員会行政視察	姫路市立津田小学校
2月2日 ～3日	岡山県都市教育委員会教育長協議会 平成27年度行政視察	山口県防府市
1月20日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第3回 定例会	総社市総合福祉センター
1月22日	岡山県下各市長と教育長との意見交換会	ピュアリティまきび

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか
4月3日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会共励会	笠岡市役所
4月9日	第1回総合教育会議	笠岡市役所
4月16日	校園長会	教育委員会会議室
4月17日	第1回笠岡市創生総合戦略懇談会	教育委員会会議室
4月20日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
4月25日	笠岡市婦人協議会総会	笠岡市中央公民館

4月28日	第2回総合教育会議	笠岡市役所
4月29日	笠岡市子どもフェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月3日	第1回カブトガニ保護啓発運動	大殿洲海岸ほか
5月7日	中学校教科書採択第1回地区協議会	笠岡市役所
5月8日	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市保健センター
5月15日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会理事会	笠岡市役所
5月16日	笠岡市体育協会総会	笠岡市総合体育館
5月17日	第2回カブトガニ保護啓発運動	大殿洲海岸ほか
5月22日	租税教育推進協議会総会	笠岡市民会館
5月26日	平成28年度全国高等学校総合体育大会笠岡市実行委員会総会	笠岡グランドホテル
5月29日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	教育委員会会議室
5月31日	笠岡市さつき・新緑展表彰式	笠岡市民会館
6月10日	(公財)坂本音一育英会評議員会	教育委員会会議室
6月13日	戦没者追悼式	笠岡市民会館
6月17日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	教育委員会会議室
6月22日	第2回笠岡市創生総合戦略懇談会	笠岡市役所
6月26日	交通安全対策協議会正・副部会長会議	市民活動支援センター
6月29日	笠岡市青少年問題協議会	笠岡市役所
6月30日	笠岡警察署協議会平成27年第2回	笠岡警察署
7月9日	教育施設訪問	市内教育施設
7月13日	社会を明るくする運動推進大会	笠岡市中央公民館
7月15日	中学校教科書採択第2回地区協議会	矢掛町文化センター
7月22日	笠岡市内学童水泳記録会	中央小学校
7月28日	中学校教科書採択第3回地区協議会	井原市役所
8月3日	第3回笠岡市創生総合戦略懇談会	笠岡市中央公民館
8月7日	定住促進本部会議第1回	笠岡市役所
〃	人権教育推進委員会	サンライフ笠岡
8月10日	固城郡結団式	笠岡市役所
8月18日	交通安全対策協議会正・副部会長会議	市民活動支援センター
8月20日	第3回総合教育会議	笠岡市役所
8月24日	第4回笠岡市創生総合戦略懇談会	笠岡市中央公民館
9月17日	第1回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市役所
9月20日	秋の交通安全市民運動推進大会	笠岡自動車学校

10月 1日	教育施設訪問	市内教育施設
10月 2日	笠岡警察署協議会平成27年第3回	笠岡警察署
10月13日	定住促進本部会議第2回	笠岡市中央公民館
10月21日	笠岡市内学童陸上運動記録会	笠岡陸上競技場
10月24日	笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市中央公民館
10月25日	第10回べいふあーむ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
10月27日	大島小学校研究発表会	大島小学校
10月29日	第2回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市役所
10月30日	ワコー文化賞表彰式	笠岡グランドホテル
11月 1日	笠岡市文化祭	笠岡市民会館ほか
11月 1日 ～7日	笠岡市内小・中学校オープンスクール	笠岡市内小・中学校
11月 3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡市保健センター
11月 8日	青少年健全育成推進大会	笠岡市中央公民館
11月10日	善行少年表彰式	笠岡警察署
11月12日	岡山県小学校長教育研究大会	笠岡市民会館
11月14日	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館視聴覚室
12月13日	第29回カプトガニ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
12月20日	市長杯備西地区ママさんバレーボール大会	笠岡市総合体育館
12月21日	第4回総合教育会議	笠岡市役所
12月24日	第3回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市役所
1月10日	成人式	笠岡市民会館
1月14日	第4回笠岡市福祉施策審議会	笠岡市役所
1月15日	連合岡山笠岡地区協議会との懇談会	笠岡市役所
1月31日	第19回べいふあーむ笠岡マラソン大会	笠岡陸上競技場ほか
2月 2日	笠岡警察署協議会平成28年第1回	笠岡警察署
2月 4日	教育施設訪問	市内教育施設
2月14日	第27回笠岡市生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月19日 ～20日	第29回笠岡市人権・部落解放文化祭	吉田文化会館・吉田小学校
2月21日	笠岡市美術展表彰式	笠岡市民会館
〃	笠岡市連合PTA市長と語る会	笠岡小学校会議室
2月22日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	教育委員会会議室
2月23日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会理事会	教育委員会会議室
2月24日	交通安全対策協議会正・副部会長会議	市民活動支援センター

3月 1日	高校卒業式	市内高校
3月 4日	岡山県立西備支援学校高等部卒業式	岡山県立西備支援学校
3月11日	岡山県立西備支援学校小・中学部卒業式	岡山県立西備支援学校
3月13日	第11回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡市保健センター
3月15日	中学校卒業式	市内中学校
3月16日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	教育委員会会議室
3月18日	小学校卒業式	市内小学校
3月22日	(公財)坂本音一育英会評議員会	教育委員会会議室
3月24日	テニスコート・クラブハウス竣工式	笠岡総合スポーツ公園
3月31日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか

(4) 学校及び教育施設への支援

○教育委員による学校・教育施設訪問

幼稚園3園，小学校6校，中学校1校，公民館等教育施設7施設を訪問した。

(前年度 幼稚園3園，小学校5校，中学校3校，教育施設7施設)

月 日	学 校 等	教育施設等
7月 9日	北木西幼稚園，六島小学校	北木島宿泊研修所，六島公民館，中央公民館
10月 1日	今井幼稚園，今井小学校，神島外中学校，神内小学校，金浦小学校	陶山公民館
2月 4日	笠岡幼稚園，大井小学校，新山小学校	郷土館，北川公民館，吉田公民館

各学校（園）における教育目標，研究主題，指導の重点を確認し，授業・部活動状況，施設整備状況，地域との連携，幼・小・中学校の連携等の実情を視察，現在抱える課題について意見交換した。教育施設についても，活動状況や運営状況及び施設整備状況を視察し，今後の課題について懇談した。また，学校開放の時期等を活用して随時，授業参観を行ったり，研究指定校の公開授業を参観して課題の把握に努めている。

○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せ，食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター（共同調理場）及び島しょ部校（単独調理場）の学校給食を試食した。

月 日	学 校 等	調理施設
7月9日	笠岡市立六島小学校	六島小学校
10月1日	笠岡市立神内小学校	学校給食センター
2月4日	笠岡市立新山小学校	学校給食センター

2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 教育行政の運営に関する基本方針

平成27年度に「笠岡市教育振興基本計画」を策定し，“人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり”の基本理念の基、「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」3施策、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」2施策、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」3施策の各教育行政基本施策を定めた。

(2) 規則等の改廃

規則，要綱，規程等の制定・改正等を行った。

- ①笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ②笠岡市教育委員会個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する規則の制定について
- ③笠岡市立学校管理規則の一部を改正する規則について
- ④笠岡市立幼稚園園則の一部を改正する規則について
- ⑤笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について
- ⑥笠岡市幼稚園就園奨励事業実施要綱の一部を改正する要綱について

(3) 教育関係予算

教育行政に関する平成28年度当初及び平成27年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

設置又は廃止はなかった。

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申，幼稚園長の人事異動，地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書の採択の決定に関すること

平成28年度使用中学校教科用図書について審議した。

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

笠岡市人権教育推進委員会委員，笠岡市立竹喬美術館協議会委員，笠岡市立カブトガニ博物館運営委員会委員，笠岡市教育集会所運営委員会委員，笠岡市社会教育委員，公民館運営審議会委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委

員を委嘱した。

- (8) 市重要文化財の指定及び解除
指定及び解除はなかった。

- (9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

平成26年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し、報告書の作成、議会への報告、公表を行った。

自己評価 B

新教育委員会制度のスタートと同時に、総合教育会議を開催し、4月中の「笠岡市教育大綱」の策定に努めるとともに、年度中4回の総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ、教育行政の推進を図った。また、教育大綱に掲げる基本理念「人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり」を具体的に実現するため、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、「笠岡市教育振興基本計画」を10月に策定した。

学校規模適正化については、計画に沿って地元協議を重ねてきたものの、笠岡市創生総合戦略の実施期間である平成31年度までは一時保留とした。

教育の行政需要については、それぞれの地域や学校の規模に、かなり違いがあるため、それぞれの教育課題を的確に把握し、政策や予算に反映できるよう教育行政の充実に努めた。

3 教育行政基本方針・基本施策

《 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進 》

点検・評価項目	自立した子どもの育成
担当課	学校教育課

目 標 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得し、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

事 務 事 業

1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

事業概要 小・中学校を訪問し、確かな学力の獲得に向けた授業改善等について、授業の研修を通して取組の支援・助言を行う。また、補充学習や家庭学習の取り組みを通して、学習習慣の定着を図る。

取組状況 (1) 平成 27 年度岡山県学力・学習状況調査結果を踏まえた取組の明確化及び中学校ブロックごとの協議

【平成 27 年度岡山県学力状況調査結果（小北中除く）】

() 内は 26 年度、下線は正答率が県より上

平均正率 (%)	全体		基礎		活用	
	笠岡	県	笠岡	県	笠岡	県
国語	61.5 <u>(67.8)</u>	62.7 (67.4)	63.6 <u>(74.1)</u>	65.0 (74.0)	55.5 <u>(44.9)</u>	56.5 (43.6)
社会	<u>51.7</u> <u>(55.5)</u>	51.6 (53.9)	<u>56.6</u> <u>(56.2)</u>	56.2 (54.0)	33.3 <u>(53.8)</u>	34.1 (53.7)
数学 (算数)	<u>63.7</u> <u>(59.4)</u>	63.4 (57.7)	<u>66.7</u> <u>(61.7)</u>	66.2 (59.6)	55.3 (51.0)	55.6 (51.0)
理科	<u>67.1</u> (51.9)	63.4 (52.4)	<u>70.5</u> (59.1)	69.1 (59.3)	<u>60.2</u> (30.3)	58.7 (31.8)

【平成 27 年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答（小北中除く）】

学習状況に係る質問項目	笠岡	県
放課後等、先生や地域の人と勉強する 「週に数回程度」～「ほぼ毎日」	13.1 <u>(22.9)</u>	17.9 (20.9)
学校の授業時間以外で月～金曜日 1 日どれくらい勉強しているか（1 時間以上 2 時間より少ない）	38.0 <u>(37.6)</u>	39.0 (32.6)
自分で計画を立てて勉強している	<u>72.4</u> <u>(66.0)</u>	66.6 (63.7)

(2) 課題に応じた学校訪問

各校園の課題を把握し、それに基づき意図的かつ重点的に学校訪問し、課題に対する具体的な指導・助言を行った。

(3) 理科観察実験アシスタント2名配置

・笠岡小，中央小，金浦小，大井小

(4) 補充学習の充実

- ・かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業(全小学校:236(H26:316)名参加)
- ・放課後学習サポート支援事業(16小学校:370(H26:407)名参加)
- ・かさおかサマーチャレンジ学習支援事業(5中学校:49(62)名参加)

(5) 授業改善・学力向上のための指導用デジタル教科書等の整備

(6) 落ち着いた学習環境づくりと家庭学習の充実

各中学校ブロックでの学習規律や家庭学習の手引きの協議

成 果 笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを軸に、授業改善や補充学習の充実などの取組を継続した結果、各学校において、学習規律の徹底や授業改善が進んできている。その結果、小・中学校の学力・学習状況調査の基礎において、成果が少しずつ現れている。学習習慣の定着については、自分で計画を立てて学習する生徒が増加しているが、家庭学習の時間には課題があり、授業との関連を図るなど引き続き検討していく必要がある。

2 幼児教育の充実

事業概要 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実を図る。また、幼児数の減少に伴う今後の就学前教育について他課と連携して検討を行う。

取組状況 (1) 幼児と児童との交流の機会の設定

- ・保育所(園)、幼稚園と小学校との連携:全小学校
- ・就学前教育の充実と幼小連携の研修会の開催 10月29日
講師 県教育庁義務教育課 就学前教育スーパーバイザー

(2) 笠岡市教育研修所指定 横江幼稚園

「感じて 伝えて 響きあって～運動遊びを通して～」

(3) 家庭や地域との連携

未就園児の園庭解放、家庭、地域の方の保育への参画の推進

(4) 子ども子育て会議、幼保一体化チームへの参加及び協議

成 果 就学前教育と小学校の連携について研修会を開催し、保幼小連携や接続カリキュラムの必要性について研修した。また、保幼一体化については、

庁内関係課で協議する場をもち、今後の方向性について協議を始めた。

3 特別支援教育の充実

事業概要 学校・園が関係機関と連携を取りながら、個別支援を必要とする児童生徒の教育の充実を図る。学校・園のニーズに応じて非常勤支援員を配置するとともに、4歳児発達支援事業を実施し、早期からの支援を行う。

取組状況 (1) 幼・小・中学校(園)への非常勤支援員の配置

・幼稚園5園 ・小学校12校 ・中学校4校：計41名配置

・笠岡市教育支援員研修会 6月10日

講師 県特別支援教育課、県立西備支援学校

(2) 特別支援教育担当者研修会の実施

(3) 笠岡市教育研修所指定 金浦中学校

「すべての生徒の『わかる・できる』を目指した授業づくり

～ユニバーサルデザインの視点を教育に取り入れて～

(4) 就学指導に関わる保・幼・小連絡会の実施：年2回

(5) 「4歳児発達支援事業」の推進(早期相談・早期支援)

(6) 笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の改訂版の周知、配布

成果 通常学級の授業において特別支援教育の視点を取り入れ、すべての子どもにとって分かりやすい授業づくりを目指して、金浦中学校をはじめとして、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた研修が行われた。また、非常勤支援員は昨年とほぼ同じ規模で配置することができ、効果的に活用するため、非常勤支援員の研修会を開催した。

4 時代に即した学校教育の推進

事業概要 教職員のICT活用指導力の向上を図るとともに、情報教育の一層の推進と充実を図る。また、子どもの発達を軸に、幼児期から中学校まで一貫性のある教育を推進する。

取組状況 【情報教育の推進】

(1) ICT機器の効果的な活用に向けた情報提供及び研修会の開催

・教育情報化推進と学校力向上のための研修会 管理職対象

講師：東北大学大学院教授 堀田龍也 先生

・新採用教員や異動教員へのICT活用のための研修会の開催

(2) 学校訪問や校内研修を活用したICT活用に関わる指導・助言

(3) すべての小学校に指導用デジタル教科書を整備

国語・算数(全学年)、社会(5, 6年)理科(3~6年)

(4) 英語教育推進モデル事業 教育課程特例校(英語)：神島外小

連携校：神島外中学校、島しょ部小中学校

- ・児童生徒用タブレット，英語ソフトウェアの整備
- ・英語科の授業研究，年間指導計画の作成

【保幼小中連携教育の推進】

- (1) 中学校ブロックごとに，保幼小中連携会議の開催
 - ・中学校ブロック内のテーマ（目指す子ども像）を明確にした取組の協議
- (2) ブロック内で連携した学力向上，生徒指導，生活習慣等の取組
 - ・中学校教諭による小学校での出前授業
 - ・学習の手引きや生活の手引きを連携して作成
 - ・家庭学習や基本的生活習慣，アウトメディアデー等の強化週間の取組
- (3) 就学時や入学後の保幼小連絡会や小中連絡会等の実施
- (4) 笠岡市連携教育推進委員会の開催（1回）

成 果 指導用デジタル教科書の整備や教職員研修等を通して，教員のICT機器の活用がより日常的になり，授業改善が進んでいる。管理職に学校経営にICT機器がどのように活用されるか等，学校力の向上と教育の情報化について研修した。英語教育においては，教育課程特例校（英語）の指定とともに，連携中学校の英語教員の兼務により，授業支援や出前授業を行った。

課題・方向性

学力向上については，教員の意識改革や授業改善，放課後や土曜日を活用した補充学習等，確かな学力を身に付ける取り組みを継続する必要がある。補充学習等においては，対象学年の変更や実施日により参加人数に変化が見られる。より柔軟に対応し，多くの参加ができるように配慮していく。また，家庭学習の時間や内容について中学校ブロックで話し合い，各学校で具現化し取組を行っているが，学習習慣の定着に向けて引き続き取り組んでいく必要がある。

自己評価 B

笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として，教員のICT活用による授業改善や補充学習の充実を図ってきた結果，学力・学習状況調査結果については，小学校では基礎において正答率の改善が見られるようになった。また，デジタル教科書の導入により，ICT活用がさらに日常化し，授業改善を推進することにつながった。放課後，土曜日を活用した補充学習や授業との関連を意識した家庭学習をさらに継続的に行うことが必要である。

中学校ブロック内の校種が異なる教員同士が話し合う機会を設け、中学校ブロックのテーマ（目指す子ども像）を協議した。また、学習規律や家庭学習の手引きの作成、基本的な生活習慣の徹底等、連携して取り組んでいる。また、互いの授業参観や出前授業等を実践する学校が増えてきた。保幼小中連携を学力向上とともに就学前教育や特別支援教育等の視点からも検討し、保幼小中が連携して基礎的な知識及び技能を習得し、自ら学ぶための資質や能力を育成したい。

時代に即した学校教育の推進のために英語教育、特別な教科道徳、就学前教育等も着実に研究を進め、実践を市全体に広げていきたい。

点検・評価項目

豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成

担 当 課

学校教育課

目 標

子どもたちにとって安全で安心して生活できる教育環境の中で、道徳教育や体験活動を推進し、幼児期からの基本的な生活習慣の確立及び規範意識の高揚など、豊かな人間性や社会性を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る。

事 務 事 業

1 豊かな人間性を育む教育の充実

事業概要 道徳教育の一層の充実を図るとともに、人・社会・自然などの体験活動を通して子どもたちのよりよい人格形成を図る。

取組状況 (1) 道徳の時間の確保及び道徳教育の充実

・道徳の時間の1学級当たりの平均授業時数

小：36.0時間（H26：35.5時間）・中：36.8時間（H26：35.7時間）

・笠岡市教育研修所指定 金浦小学校

「主体的に判断し、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成」～自ら考える道徳の授業づくりを中心にして～

(2) 総合的な学習の時間を中心とした体験活動の充実

・「豊かな心を育む総合推進事業」

(3) 中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」の実施

・市内全中学2年生対象：4日間 参加生徒数 411名

(4) かさおか青少年宿泊体験事業「かさおか海の学習」

・笠岡小、陶山小、大井小、吉田小、新山小、神内小、大島小

【平成27年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答%（小北中除く）】

（ ）内は26年度，下線は県と比較

内面に係る質問項目	笠岡	県
物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある	95.3(97.0)	96.5(96.0)
自分には、よいところがあると思う	80.7(76.5)	80.7(79.5)
将来の夢や目標をもっている	87.5(88.3)	84.1(84.4)
学校のきまりを守っている	96.1(97.0)	96.2(95.6)
人が困っているときは、進んで助けている	84.9(84.7)	85.7(84.8)
人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	95.3(95.9)	94.9(94.8)
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98.5(99.2)	97.1(97.0)
人の役に立つ人間になりたいと思う	96.1(96.5)	95.3(95.3)

【暴力行為発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 発生学校数÷学校総数×100（%）（ ）内は件数

年度 \ 種別	小学校		中学校	
	笠岡	県	笠岡	県
H24	5.3(1)	14.9(193)	50.0(28)	59.8(944)
H25	0.0(0)	15.5(204)	30.0(11)	57.5(906)
H26	0.0(0)	17.7(204)	20.0(5)	55.6(653)

成 果 岡山県学力・学習状況調査における豊かな人間性の育成に関する項目の肯定的回答は昨年度とほぼ同様であった。「自分には、よいところがあると思う」項目は少し高くなっているが、教育活動全体の中で自己肯定感を高める取り組みは今後も必要である。暴力行為は引き続き減少傾向にあり、落ち着いた学校生活になっていると考えられる。新規事業「かさおか海の学習」では、7小学校が参加し、笠岡諸島の自然に触れ、体験を通してその良さを感じた児童の感想が多くあった。

2 健康教育の充実と食育の推進

事業概要 子どもの心身の健康を保持・増進していくために、基本的な生活習慣の定着や食育の充実を図り、健康を大切にする意欲や態度を育てる。

取組状況 (1) 年間指導計画に基づく食育の実施

・栄養教諭や栄養士、調理員等による給食時の学校訪問実施

小学校 34 回、中学校 12 回実施

・栄養教諭による食育の授業・朝食指導の実施

朝食指導 小学校 11 校 14 回 食の指導 小学校 1 校

・残食率の推移

平成 27 年度 13.6% (H26 : 14.8%, H25 : 14.2%)

(2) 学校保健委員会・学校園における食に関する講話や試食会の実施

・講話：幼稚園 3 園

・試食会：幼 10 園・小 12 校・中学校 1 校 において計 34 回

(3) 笠岡市学校給食展開催（2 月）

(4) 学校給食における地産地消の推進

地産地消の取組では、市内業者とも連携し、献立を工夫した。

【県内産使用割合】

・平成 27 年度 52.5% (H26 : 46.4%, H25 : 40.2%)

(5) アレルギーのある児童生徒への対応

・鶏卵除去食：19 人 (H26 : 18 人)・豆乳希望者：1 人(H26 : 5 人)

(6) 薬物乱用防止教室の開催 全中学校

成 果 栄養教諭による食育の指導は、早い時期に児童生徒自身が朝食の大切さを理解し、実践しようとする意欲を持たせるために、小学校5年における朝食指導を中心に行った。また、学校給食における地産地消の使用率は昨年度より上回った。薬物乱用防止については、すべての中学校で実施した。

3 学校体育・スポーツ活動の充実

事業概要 学校と家庭・地域が連携して、児童生徒の体力の向上を図る。

取組状況 (1) 校内における体力向上の取組

- ・水泳や陸上の特別練習の実施：小学校 18 校
- ・業間運動の実施：全小学校 ・部活動の充実：全中学校
- ・駅伝大会に向けた特別練習の実施：中学校 6 校（小北中含む）

(2) 新体力テストの実施（全小・中学生対象）

- ・「A」段階（優秀章）人数

	平成 27 年度		平成 26 年度	
	男子	女子	男子	女子
小学校	160 (14%)	185 (17%)	193 (16%)	218 (20%)
中学校	67 (10%)	195 (32%)	73 (10%)	189 (30%)

(3) 岡山県「子どもの運動の習慣化事業（チャレンジランキング）」への参加

- ・平成 27 年度：小 7 校，中 2 校 平成 26 年度：小 4 校，中 2 校

成 果 岡山県が実施しているチャレンジランキングには、新たに小学校 3 が参加し、体を動かす習慣につながる取組として実践した。新体力テストにおいて「A」段階が、中学校女子で増加した。

課題・方向性

「自分にはよいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」の項目等で多くの児童生徒が肯定的な回答になるようにさらに自己肯定感を高める取組が必要と考える。基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成については、家庭と連携した取組を充実させることが課題である。

自己評価 B

豊かな心や健やかな体をもつ子どもを育成するためには、各学校園の取組を充実していくとともに、家庭との連携・協力した取組が不可欠である。

体験活動の充実、校種間連携や家庭・地域連携を通して、自己肯定感を高めたり、規範意識を向上させることがさらに必要である。

健康教育、食育の推進については、栄養教諭の指導や学校給食センター職員の学校訪

問、学校保健会や給食展等多くの機会を設けて子どもや保護者へ、その大切さを周知する機会を設けることができている。

点検・評価項目

安心して学習できる教育環境づくり

担 当 課

学校教育課

目 標

地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域との信頼関係を構築するとともに、子どもたちが安心して学習できるように教職員の資質・能力の向上や相談体制の充実に努める。

事 務 事 業

1 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備

事業概要 学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営や教育課程の編成に生かすとともに、開かれた学校づくりを推進する。また、いきいき交流スクール、わくわくシーサイドスクール、神島外小・中学校転入学特別制度を積極的に推進する。

取組状況 (1) オープンスクールの実施：全校で4日間

【参加者数（小北中含む）】

	平成 27 年度	平成 26 年度
保護者	2,262 人	2,306 人
保護者以外	1,006 人	950 人
計	3,268 人	3,256 人

(2) 学校運営協議会・学校評議員会の活用

- ・学校運営協議会（笠岡東中・笠岡西中・金浦中：年4～5回開催）
- ・学校評議員会（その他全校園：年2～3回開催）

(3) 学校自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果を生かした次年度教育課程の編成

(4) CMSによる積極的な情報発信（全小中学校）

(5) 学校支援地域本部事業の活用 4中学校・12小学校

- ・金浦中学校区，大島中学校区，北木中学校区，新吉中学校区
- ・中央小，神内小，神島外小，笠岡小（H27年度より）

(6) 笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画の柔軟な対応についての説明会の開催・・・各地区

月 日	会 場	月 日	会 場
9.19	説明会（陶山小学校区）	10.20	説明会（真鍋中学校区）
10.4	説明会（大島東小学校区）	10.28	説明会（今井小学校区）
10.6	説明会（北木中学校区）	28.2.10	PTAとの協議（今井小）
10.13	説明会（白石中学校区）	3.2	PTAとの協議（大島東小）

(7) 転入学特別制度の活用

- ・「わくわくシーサイドスクール」活用児童：0名
- ・「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：3名
- ・「神島外小学校転入学特別制度」活用児童：0名

成 果 学校運営協議会を新たに金浦中学校で始め、地域の方が学校運営に参画する体制ができた。また、学校支援地域本部事業も新たに1校開始した。
笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画の柔軟な対応についての説明会を開催し、協議の結果、平成31年度まで一時保留にしている。

2 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立

事業概要 市内の幼・小・中全教職員で組織する教育研修所、教科等研究委員会及び各種教職員研修における研究を推進する。

取組状況 (1) 笠岡市教育研修所による研修の充実

【研究指定校園発表】

- ・大島小学校（音楽）
- ・六島小学校（特別活動）・北木中学校（地域連携）
- ・金浦小学校（道徳）中間発表

【研修部会の参加率・回数等】

定例部会			特別部会		
参加率 80.6% (78.9%)			参加率 78.9% (74.6%)		
校種	部会	研修会	校種	部会	研修会
幼	2	8回	幼小	1	3回
小	10	31回	小	6	15回
中	10	25回	中	7	17回
小中	3	13回	幼小中	1	4回

(2) 若手教員パワーアップ研修会（35歳以下教員対象）

- ・8月12日：授業づくり

岐阜聖徳学院大学 教授 玉置 崇 先生

放送大学客員教授 関西大学非常勤講師 塩谷 京子 先生

(3) 若手教員パワーアップミニ研修会（随時）

(4) 不登校対応スキルアップ校内研修会（1回）

(5) 岡山県教育委員会・岡山県総合教育センターと連携した研修会

(6) 服務規律の徹底

教職員の服務規律の徹底について各校で計画的な研修を実施した。

成 果 若手教員が増える中、著名な講師を招聘して授業力向上に関する実践的な研修を行うことができた。

3 安全教育・防災教育の推進

事業概要 各校園において、安全点検を徹底するとともに、危機管理部と連携を図りながら火災や地震、津波等の緊急事態発生時には、全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させるなど、安全で安心して生活できる実効性のある危機管理体制づくりを推進する。

また、警察と連携し、児童生徒の健全育成と安全確保を図る。

取組状況 (1) 教職員及び保護者による通学路の安全点検の実施：全小・中学校
(2) 保護者や地域住民との積極的な連携
・地域と連携した避難訓練の実施
・安全パトロール隊、見守り隊、子ども110番 等
・救急救命法講習会の開催
(3) 緊急配信メール「すぐメール」の活用
(4) 「地震・津波等対応マニュアル」及び防災教育実施計画の見直し
(5) 岡山県警察本部と笠岡市教育委員会との相互連携制度に関する協定による警察と連携した安全確保

成 果 地震や津波を想定した避難訓練では、保護者や地域と連携し、引き渡し訓練を行う学校が増加した。また、警察との相互連携により早期に情報共有を行う体制を整えた。

4 教育相談・支援体制の充実

事業概要 不登校やいじめなどの学校不適応の問題、発達障がい等による特別な支援が必要な子どもへの対応、児童虐待などの今日的な課題に対応することができるよう、教育相談室と教育支援センターの相談・支援体制の充実に努めるとともに、関係機関との連携を図る。

取組状況 (1) 「笠岡市いじめ・不登校対策総合推進事業」に基づいた取組の推進
(2) スクールカウンセラーの配置
・全中学校 ・小学校4校（笠岡小，中央小，大井小，城見小）
(3) スクールソーシャルワーカーの活用
(4) 不登校対策支援員の配置（4校）
・笠岡東中，笠岡西中，金浦中，神島外中
登校支援員（4校）
・笠岡小，中央小，金浦小，大井小
(5) 不登校対策研修会（6月）

【教育相談室・教育支援センターへの通室数及び相談・支援件数(小北中含む)】

	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
通室児童生徒数 (含仮通室)	5 名 (小 0・中 5)	6 名 (小 1・中 5)	7 名 (小 1・中 6)
教育相談室	延べ 454 件	延べ 477 件	延べ 510 件
教育支援センター	延べ 181 件	延べ 130 件	延べ 345 件

【不登校発生状況〈公立：国立：私立計〉(小北中含む)】

※ 出現率＝不登校児童(生徒)数÷在籍児童(生徒)数×100

小	不登校児童数		出 現 率			笠岡市在籍児童数
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国	
H24	485	7	0.45	0.28	0.31	2,457
H25	454	10	0.43	0.43	0.36	2,321
H26	470	5	0.45	0.22	0.39	2,287

中	不登校生徒数		出 現 率			笠岡市在籍生徒数(小北中含む)
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国	
H24	1,491	43	2.60	3.01	2.56	1,429
H25	1,403	37	2.48	2.68	2.69	1,380
H26	1,328	25	2.37	1.90	2.76	1,315

【いじめ発生状況〈公立：国立：私立計〉(小北中含む)】

※ 一校当たりの件数＝認知件数÷総学校数

小	認知した学校数		認知件数		一校当たりの件数		
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国
H24	179	4	509	5	1.2	0.3	5.5
H25	157	3	371	4	0.9	0.2	5.6
H26	174	3	421	4	1.0	0.2	5.9

中	認知した学校数		認知件数		一校当たりの件数		
	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	岡山県	笠岡市	全 国
H24	125	4	663	12	3.8	1.2	5.9
H25	110	1	445	3	3.8	0.3	5.2
H26	101	3	401	6	2.3	0.6	5.0

成 果 学校や教育相談室，関係機関との連携により，不登校児童生徒はすべて相談機関との連携ができており，相談機関と学校と連携を図りながら進めていく体制が整ってきている。また，不登校児童生徒数も減少している。

課題・方向性

開かれた学校づくりや教職員の研修など，安心して学習できる教育環境づくりの実現に向けて，取組を進めることはできたと考える。不登校に関しては，減少しているが，学校と相談機関が連携していく中で，家庭への取り組みが課題の一つになっている。

自己評価 B

不登校については，相談体制の充実や各機関の連携により，取組の成果が現れてきている。学校と教育相談室，関係機関と保護者が連携する中でソーシャルワーカーや登校支援員の配置により家庭への支援が少しずつできるようになり，朝の迎えなどにより子どもたちが朝学校に向かうケースも出てきている。今後さらに関係機関が連携を強め，支援体制を充実させていくことで不登校児童生徒数の減少を図りたい。

点検・評価項目

人権教育の推進

担 当 課

学校教育課

目 標

「生きる力」を育む中で人権尊重の精神を養うとともに、望ましい人間関係づくりに努める。また、様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため、「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」の3視点から教育活動全体を通じて、計画的・継続的に人権教育を推進する。

事 務 事 業

1 教育・啓発活動の推進

事業概要 人権教育推進体制の確立のための取組を実施する。

取組状況 (1) 各校における人権教育全体計画・年間指導計画の作成及び担当者研修の実施

- ・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
- ・人権課題解決のための自立支援
- ・人権を尊重する環境づくり

(自他を尊重する集団形成、人権に配慮した教育指導)

(2) 人権週間(12月)における取組

各校において、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等における様々な人権課題を題材とした学習を通して、共生社会の実現に向けた意識の高揚を図った。

(3) 人権啓発ポスターコンクール実施(小北中含む)

	平成27年度	平成26年度
応募作品数	93点	185点
入賞作品数	38点	38点

(4) PTA人権教育研修会

参加率：平成27年度31.9%，平成26年度32.5%，

成 果 学校園の実態や教職員のニーズを踏まえて、各研修会のテーマの設定、資料提供や講師の紹介を行った。

2 教職員の研修の充実

事業概要 人権教育担当者の研修、指導者養成講座・研修講座等を開催するとともに、人権教育研究協議会育成事業を実施する。

取組状況 各種研修講座の実施

- ・小・中学校人権教育担当者研修会実施：年2回

- ・人権教育指導者講座の実施：年5回（H26 年6回）
- ・人権保育研修講座の実施：年2回
- ・自立促進連絡会の実施：年7回（隔月）（H26 年15回）
- ・笠岡市人権教育研究協議会事業実施の支援：年4回
- ・各中学校ブロック人権教育研修会等の実施：年8回

成 果 スマートフォンやネットでの人権に関わる課題も計画的に取り上げ、実態を踏まえた具体的な研修を実施し、PTA人権教育研修会では保護者と児童生徒と一緒に参加する研修会が企画されている。

課題・方向性

スマートフォンの使用などネット社会での人権について研修する場が増え、表面に表れる学校でのトラブルは減っているが、生徒間のSNSなどの使用実態が分かりづらい状況もある。

自己評価 B

幅広い人権課題に対応した研修や計画していた事業は、予定どおり実施することができた。しかし、PTA人権教育研修会の参加率の向上については、引き続き課題である。スマートフォンやネットでの人権に関わる課題については、生徒会などで中学生自らスマートフォンの利用の仕方について考える取組が行われており、児童生徒とともに考える中でメディアとのつきあい方や人権問題について指導していく必要がある。

また、教員の年齢構成の影響もあり、近年、指導者講座等で研修した若い教員が学校の人権担当者になることも多く、若い教員への研修を充実し人権感覚を備えた人材を育成したい。

点検・評価項目 学校施設等の整備

担当課 教育総務課

目 標 耐震診断，耐震化による安全対策の充実と校舎等施設の営繕等を適切に実施し，教育環境の向上に努める。

事 務 事 業

1 学校施設の耐震化事業の推進

事業概要 学校施設は，児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に，多くの学校が災害時における各地域の避難場所としての役割を担っている。こうしたことから，教育環境の安全確保及び危惧されている東南海・南海地震に対処するための児童・生徒及び地域住民の安全拠点として整備をする。

取組状況 昭和 56 年 5 月以前の旧耐震設計基準で建てられた学校施設について，耐震診断（2 次）の結果をもとに，耐震化が必要な建物について，計画に基づき耐震補強工事を，小学校 5 校 6 棟，中学校 1 校 1 棟で実施した。

また，その中の 2 棟については施工監理を委託した。

あわせて，非構造部材の耐震化工事についても，小学校 10 校，中学校 1 校で実施した。

<平成 27 年度に耐震補強工事を実施した建物>

今井小学校屋内運動場，吉田小学校教室棟，大島東小学校校舎棟，神島外小学校屋内運動場，笠岡小学校教室棟・便所棟，笠岡東中学校屋内運動場

※笠岡小学校教室棟・便所棟の耐震補強工事については，工期延長に伴い，平成 28 年度へ繰越となった。

※施工監理を吉田小学校教室棟，笠岡小学校教室棟・便所棟で委託した。

<小中学校の耐震化率（平成 27 年度末）>

笠岡市 96.1%（前年比：+6.5%）

<平成 27 年度に非構造部材の耐震化工事を実施した建物>

今井小学校屋内運動場，今井小学校教室棟，大井小学校屋内運動場，大井小学校教室棟，吉田小学校屋内運動場，吉田小学校教室棟，新山小学校屋内運動場，神内小学校屋内運動場，大島東小学校校舎棟，神島外小学校屋内運動場，白石小学校屋内運動場，北木小学校屋内運動場，笠岡東中学校屋内運動場

※今井小学校教室棟の非構造部材の耐震化工事については、同校内での工事との調整を要したため、平成 28 年度へ繰越となった。

成 果 耐震化工事については、平成 27 年度で完了予定であったが、工期延長により予定していた年度内での完了ができなかった。
非構造部材の耐震化については、早急な対応が必要であった屋内運動場の吊り天井の撤去を計画通り実施できた。

2 学校施設の空調設備設置の推進

事業概要 児童・生徒の授業への集中による学力向上効果や近隣住民への騒音対策及び園児の体調調整を図るため、小・中学校の普通教室，特別教室（音楽室，理科室）及び幼稚園の保育室，遊戯室に空調設備を整備する。

取組状況 学校施設空調設備設置事業

快適な教育環境を提供するため、学校施設へ年次的に空調設備を整備する。平成 27 年度は設置工事を中学校 2 校，幼稚園 2 園で実施し，実施設計を中学校 3 校，幼稚園 2 園で実施した。

＜平成 27 年度に空調設備設置工事を実施した学校・園＞

笠岡東中学校，金浦中学校，富岡幼稚園，横江幼稚園

＜平成 27 年度に空調設備設置工事实施設計を実施した学校・園＞

笠岡西中学校，新吉中学校，大島中学校，大井幼稚園，大島幼稚園

成 果 空調設備の設置事業については，計画的に設置工事及び実施設計を実施できた。

3 校舎等施設の整備と安全確保の推進

事業概要 学校施設の営繕・整備について，適切に実施し，児童・生徒の安全確保を進める。また，子どもたちに安全で安心な給食の提供と食育の推進を基本理念に，新学校給食センターの早期建設に向けて取り組む。

取組状況 学校施設の営繕・整備

学校現場からの要望を集約し，危険度・緊急度を精査し，学校施設の営繕・整備を行った。

<主な工事>

学校名	事業名	事業費 (千円)
金浦小学校	プール改修工事	9,715
城見小学校	防犯カメラ設置工事	1,080
大島東小学校	照明器具更新工事	540
北川小学校	屋根防水修繕工事	1,263
大井小学校	パソコン室エアコン設置工事	972
真鍋小学校	フェンス改修工事	502
今井小学校	プールのトイレ設置工事	1,123
城見小学校	トイレ洋式化工事	1,058
神内小学校	トイレ洋式化工事	1,242
神島外中学校	放送設備改修工事	788
笠岡西中学校	南棟屋根修繕工事	1,274
笠岡東中学校	北棟東側幹線設備改修工事	842
金浦中学校	雨水排水ポンプ設置工事	756
真鍋中学校	職員室空調機修繕工事	507
新吉中学校	職員室空調機修繕工事	594
新吉中学校	トイレ洋式化工事	702
笠岡西中学校	トイレ洋式化工事	1,242
金浦幼稚園	収納棚改修工事	842
大島幼稚園	建具取替工事	1,231

新学校給食センターの建設

整備手法を決定し、PFIアドバイザー業務の推進を図った。

成 果 学校施設等については、昨年と同様に優先度等を勘案し、適切な営繕及び整備を進め、より安全で快適な教育環境の向上に努めた。

新学校給食センターについては、早期建設に向けて整備手法を決定し、PFI事業推進に努めた。

課題・方向性

学校施設の耐震化は、平成27年度の完了を目途に事業を実施したが、一部で工期延期となる工事が発生した。このため、平成28年度前半の竣工を目指し、事業の早期完了に努める。

また、学校施設の営繕・整備についても、危険度・緊急度等を勘案し、児童・生徒が

安全で安心した学校（園）生活を送れるよう、教育環境の向上に努める。

学校施設空調設備設置事業については、次年度以降も計画的に事業の進捗を図る。

新学校給食センターの建設については、次年度もPFIアドバイザリー業務を実施し、PFI事業者の選定を行う。

自己評価 B

学校施設の耐震化事業については、構造体については完了見込みであったが、工期延期により完了できなかったため、早期の完了に努める。

構造体の耐震化工事にあわせて、新たに非構造体の耐震化にも着手し、緊急度の高かった吊り天井については撤去工事を完了することができた。

空調設備の設置については、設置工事を今年度から実施し、実施設計とあわせて事業の進捗を図った。

また、耐震化事業及び空調設備設置の推進を図るため、国の補助事業、緊急防災対策事業債などを積極的に活用することにより、財源の確保に努めた。

校舎等施設の整備と安全確保の推進については、危険度・緊急度を勘案した整備を実施しており、引き続き、限られた予算の中で、危険度・緊急度を勘案し施設整備を図っていきたい。

新学校給食センターの建設については、整備手法をPFI方式とし、計画どおりの事業進捗を図ることができた。

《 心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進 》

点検・評価項目	生涯学習による人づくりまちづくり
担 当 課	生涯学習課

目 標 生涯学習による人づくりまちづくりを目指して、知識・技能・学ぶ意欲を身につけ、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

事 務 事 業

1 生涯学習の推進

事業概要 自発的な学習の推進、学習機会の拡充、社会参加の活動の促進等、人づくり・まちづくりを推進する。

取組状況 (1) 生涯学習推進体制の充実

- ・企画委員会（7月24日）学習事業の企画開発、研究及び連絡調整
- ・懇話会（7月31日）関係団体それぞれの立場から、本部会に提言するとともに、関係機関及び団体の連絡調整
- ・本部会（8月6日）生涯学習推進のための施策及び方針の決定

(2) 生涯学習まちづくり出前講座（60講座）の開催

受講者数 27年度 13,652人 26年度 11,183人

(3) 市民大学教養講座（4回）の開催

受講者数 27年度 139人 26年度 166人

(4) 託児ボランティアの支援

託児ボランティア「たんぽぽ」への活動補助を行った。

(5) 生涯学習諸学級（幼児学級、女性学級、高齢者学級、成人学級、チャレンジ学級 22学級）の開催

参加者同士の親睦を深め、それぞれの地域での関わりを深めた。

参加者数 27年度 696人 26年度 892人

(6) 第27回生涯学習フェスティバル開催

「学びが人を育てるまち 笠岡」をテーマに、舞台発表、展示発表、体験・実演・販売を実施した。

また、講師に尾野寛明さんをお招きし、「過疎と戦うネット古書店と無理しない地域づくり」と題して講演を行った。

参加者数 27年度 3,200人 26年度 3,000人

(7) 県西部の文化（広域連携事業4回8講座）の開催

連携している3市2町の地域文化への高い学習意欲、熱心な取組が見られるが、参加者の高齢化と移動手段の確保が問題である。

受講者数 27年度 50人 26年度 47人

成果 生涯学習フェスティバルは、いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができ、その成果を活かすことができるように工夫し、学びの楽しさ、大切さを再認識してもらうことができた。とりわけ 27 年度は、高校生への参加を呼びかけ、来場者の増加にもつながった。

県西部の文化事業では、定員 40 名を超える申込みも全員を受け入れることができ、学びたいという気持ちに応えることができた。

2 社会教育関係団体の育成

事業概要 団体がそれぞれの立場で生涯学習に取り組むことができるよう、助言や支援を行い、社会教育関係団体の育成を図る。

取組状況 社会教育関係団体へ年間活動補助金を交付し、組織の円滑運営及び充実に努めた。また、社会教育関係団体が実施する事業について教育委員会が共催・後援することで各種団体の支援育成に努めた。

- (1) 女性団体育成事業（笠岡市婦人協議会）の支援
- (2) 家庭教育推進事業（笠岡市PTA連合会）の支援
- (3) 公民館活動推進事業（笠岡市公民館協議会）の支援

成果 それぞれの団体が、自主的な運営ができるように、団体運営での諸問題に対して助言や支援を行った。各種事業への積極的な参加を呼びかけ、生涯学習、社会教育の充実に努めた。

3 公民館活動の推進

事業概要 地域の生涯学習の拠点として、地域課題や時代に即応した幅広い活動により地域づくり、まちづくりに努める。

取組状況 (1) 中央公民館主催・自主講座

項目	主催講座		自主講座	
	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
講座	7 講座	7 講座	49 講座	49 講座
開催回数	137 回	113 回	1,038 回	1,037 回
受講者	2,203 人	1,835 人	11,791 人	11,840 人

(2) 中央公民館講座修了作品展

開催日時	平成 27 年度	平成 26 年度
		平成 28 年 3 月 12～13 日
発表講座	56 講座	56 講座
来場者	504 人	841 人

(3) 地区公民館各種講座、文化祭等による作品発表会

地区公民館 20 館 355 講座開催（平成 26 年度 348 講座）

(4) 公民館指導者の育成

- ・公民館協議会（館長・主事会） 年2回開催
- ・主事研修会 年3回開催
- ・県公民館連合会等公民館等職員研修会 年7回参加

(5) 地区公民館活動助成事業

地区公民館 20 館 110 事業実施（平成 26 年度 109 事業）

(6) 公民館施設整備事業

施設・設備の整備については緊急度の高いものから整備を行っている。

整備費

【現年分】

項目	内容	平成 27 年度	平成 26 年度
公民館施設整備	整備費	11,289 千円	11,001 千円
地区公民館活動助成費	助成費	6,000 千円	6,000 千円

整備費内訳

公民館名	整備内容	事業費（千円）
今井, 金浦, 大井, 神島, 高島	空調設置工事	3,903
城見, 新山	空調改修工事	2,106
大井	大型車出入口新設工事	367
北川	屋根塗装工事	2,218
新山	印刷機購入	377
地区公民館	パソコン購入	2,318

成果 県公民館連合会等の実践的な研修に参加することにより、公民館指導者としての力量の向上を図ることができた。

老朽化した施設の改修により、安心して学習できる環境づくりを推進することができた。

公民館活動助成事業では、地区公民館の創意工夫した事業を推進することができた。

課題・方向性

まちづくり出前講座や生涯学習フェスティバルでは、受講者や参加者が若干増えたが、諸学級数は減少となった。ニーズに応じた講座内容や、PR方法に工夫をし、生涯学習のまちづくりを推進していかなければならない。

公民館をより多くの人に利用してもらうために、引き続き魅力ある講座を開講し、新たな受講生を確保する必要がある。

子どもや若者、働き盛りの世代も含めて、地域住民全体が気軽に集える交流の場や居場所となるよう努め、若者が参加のできる地域づくりの拠点として社会の要請に的確に

取り組んでいかなければならない。

自己評価 B

社会教育関係団体が社会教育の充実に努められるように、活動に対する補助金を交付した。また、それぞれの団体の課題等に対し助言や支援を行い、充実した生涯学習、社会教育の実施ができるように努めた。

中央公民館、地区公民館等の社会教育施設を中心とした学びでは、それぞれの地域のニーズにあった講座等を実施しているが、より一層工夫等を行い、新規受講生を確保していきたい。

点検・評価項目

青少年の健全育成

担 当 課

生涯学習課

目 標 青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実等により、青少年の健全な育成活動を推進する。

事 務 事 業

1 家庭教育の充実

事業概要 家庭や家族を取り巻く社会環境の著しい変化にともなう不登校やニート、引きこもりなど、様々な課題に対応するため、家庭教育機能の充実、相談体制の整備充実並びに家庭の教育力向上を図る。

取組状況 教育相談室事業（家庭教育相談・子育て相談・学校適応相談）の実施
＜相談延数＞ 454件（本室419件、分室35件）

成 果 学校生活、家庭生活又は社会生活において悩みをもつ児童・生徒及びその保護者に対して、その悩みや不安を受け止めるとともに、学校教育と連携しながら保護者に相談、助言を行った。

2 家庭・学校・地域社会の連携強化

事業概要 青少年の健全育成を推進するため、家庭・学校・地域社会・関係機関等の連携を強化し、地域ぐるみで活動の拡大を図る。

取組状況 （1）地区青少年健全育成推進事業（11地区）の実施

補助金を交付し、地域の状況に応じた青少年の健全育成に役立った。

（2）第38回青少年健全育成推進大会の実施

明るい家庭づくり作文と青少年スピーチコンテストの優秀作品の発表を行った。

参加者数 27年度 200人 26年度 200人

（3）明るい家庭づくり作文募集と文集発刊

1,301点の応募から優秀作品を選考し、文集にまとめ発行した。

（4）子ども情報誌「ぼっけえかさおか わんぱく宝箱」発刊（4回）

イベント情報やクイズで好評を得た。

発行部数（1回当たり）27年度5,400部 26年度5,685部

（5）第11回青少年スピーチコンテストの実施

中学生計8名が約110人の聴衆の前で自分の考えを披露した。

（6）たくましい笠岡っ子育成事業（市内全域8回）の実施

子ども自身が主体的に活動していく中で、たくましさを身につけていくことをねらいとして、小学校3年生から6年生を対象に、自然体験活動、社会体験活動を行った。

参加者数 27年度 167人 26年度 205人

(7) 放課後子ども教室の開催（市内9教室）

小学生が安全で安心して健やかに成長できるよう市内9か所で土曜日・日曜日、夏休み等の長期休暇期間を利用して年間約60日実施した。（笠岡東公民館，笠岡公民館，今井公民館，陶山公民館，大井公民館，大島公民館，神島外公民館，NPO法人子ども劇場笠岡センター，番町コミュニティハウス）

(8) 学校支援地域本部事業の実施（市内8地区）

校内環境整備，学習支援活動，安全指導支援活動等を地域住民による学校支援ボランティアにより，前年度より1地区多い8地区で実施をした。（金浦中学校区，新吉地区，大島地区，北木島地区，中央小学校区，神内地区，神島外浦地区，笠岡小学校区）

(9) 土曜日教育支援事業の実施（市内7教室）

市内7か所で土曜日等における土曜日授業，土曜日の課外授業支援や土曜学習等として，保育士体験活動，茶道教室や英会話教室などを実施した。（笠岡東公民館，笠岡公民館，今井公民館，陶山公民館，大井公民館，大島公民館，NPO法人子ども劇場笠岡センター）

成 果 家庭・学校・地域の連携により，地域ぐるみで子どもたちの安全を確保し，地域の教育力の向上とともに子どもたちの健全育成に努めた。また，学校支援地域本部事業の実施地区の増加等，子どもたちに豊かで有意義な教育支援活動を提供した。

3 青少年団体の育成

事業概要 子ども会やスポーツ少年団等のグループ活動を奨励し，各種体験活動の機会を充実しながら，互いの連帯感やボランティア精神の醸成に努める。

取組状況 (1) 笠岡子どもフェスティバルの開催

連休のイベントとして定着しており，近隣の市町村からの参加者も多い。

参加者数 27年度3,000人 26年度3,500人

(2) 子ども会活動の促進への取組み

少子化，未組織化により笠岡市子ども会育成連絡協議会の運営が困難になってきている。単独事業から，実行委員会形式の事業への参加へ移行している。

(3) 高校VYS活動への取組み

市内の2高校を中心として結成されている高校VYSを育成している。

生涯学習フェスティバル、恵風荘の夏祭りなどの行事のサポート、放課後児童クラブ「ゆうゆう」での学童ボランティアなどの活動を行った。

笠岡商業高等学校、笠岡工業高等学校の2校の会員で運営しているが、市内の他の高校への広がりが課題である。

成 果 単位子ども会、高校VYS部員が減少する中、子ども会ではデイキャンプやパン作りを、高校VYSでは児童クラブでのボランティア活動を行うなど工夫をしながら団体又は会員数の減少に歯止めをかけるよう努力し、活動の場を広げることができた。また、子どもフェスティバルでは、27年度から屋外と屋内に会場を設け、体験活動の機会を充実させながら、子どもが一日のびのびと遊びながら親子で過ごすことのすばらしさを実感できた。

4 非行防止活動

事業概要 青少年の非行防止のため、家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・環境浄化・啓発活動等に取り組み、青少年の健全育成と地域社会の意識向上を図る。

取組状況 (1) 笠岡青少年育成センター（笠岡市及び里庄町青少年育成協議会）

- ・補導活動 専任指導員3人 指導員45人 相談員1人
- ・相談活動 電話相談 9件 面接相談 2件
- ・有害環境浄化活動（白ポスト6か所設置）
- ・啓発活動（街頭キャンペーン 7,11月）のべ7団体55名参加
- ・研修会等の開催 「少年補導の現状と課題」「e-ネット安心講座」
- ・学校との連携 「高補連絡会」「中学校生徒指導連絡協議会」

(2) 研修会等への参加

- ・岡山県補導（育成）関係者研修会（岡山市） 11名
- ・赤磐市青少年育成センター視察 16名
- ・全国青少年補導センター連絡協議会定期大会「福井大会」 1名

成 果 家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・啓発活動を展開することにより、青少年の健全育成、非行防止、安全確保の推進をすることができた。また、公園やゴミの多い道路等、自主的に環境を浄化する活動に取り組む住民が増えてきている。

課題・方向性

事業の実施において、青少年の動向を踏まえた健全育成事業の実施や指導員をはじめとした育成事業のサポーターの拡充が必要である。また、子どもや青少年が夢や希望を持ち、安心して生活できる地域づくりが推進できるよう地域住民や関係機関との連携を深める必要がある。

さらには、子どもの能力を引き出すための各種事業については、関心や興味を持ち、より多くの参加が得られるよう創意工夫し充実を図る必要がある。

自己評価 B

家庭、学校、地域社会の連携を図りながら、青少年の健全育成に努力してきた。

学校支援地域本部を拡充したりするなど、学校、家庭、地域の連携を強化し、地域ぐるみでの活動を確立することができた。

青少年団体の育成では、対象となる人数が少なくなる中で、団体それぞれが工夫を行い、充実した活動ができるよう、指導・助言を行った。

非行防止活動についても、家庭、学校、地域や関係機関と連携して、青少年の健全育成と地域社会での意識の高揚を図ることができた。

点検・評価項目

人権教育・啓発の推進

担当課

生涯学習課

目 標 笠岡市人権尊重の都市づくり条例や笠岡市人権施策基本方針に基づき、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、家庭・地域・職場等、あらゆる日常生活の場において人権尊重の精神が態度や行動に表れるような人づくりを推進する。推進に当たっては、指導者の資質と指導力の向上に努めるとともに、多様な学習機会を確保する。また、人権問題に起因する教育上の課題を克服するための支援に努める。

事 務 事 業

1 教育・啓発活動の推進

事業概要 同和問題をはじめとする様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」を中心に各活動を実施する。

取組状況

- (1) 地域公民館人権啓発事業
- (2) P T A人権教育推進事業（幼稚園，小・中学校 P T A）
- (3) 笠岡市教育集会所事業（自立促進，交流活動，相談事業等）
- (4) 人権教育自立促進事業
- (5) 子ども会活動への支援
- (6) 社会教育諸団体等での研修（婦人協議会，女性学級，幼児学級等）
- (7) 行政職員各種研修
- (8) 笠岡市内企業・事業所等人権教育研修
- (9) 多様な啓発活動（個別の人権問題についての啓発）
- (10) 笠岡市人権教育講演会，笠岡市人権問題講演会
- (11) 第 29 回笠岡市人権・部落解放文化祭

成 果 第 29 回笠岡市人権・部落解放文化祭に，1 日目にあつさんのコンサート等を行い，796 名の参加があった。また，2 日目には全国隣保館連絡協議会常任顧問 中尾由喜雄さんの講演等を行い，894 名の参加があった。
2 日間の来場者は 1,690 名で，昨年度より増加した。

2 人権教育推進組織の活性化

事業概要 人権教育を推進するために，各委員会を設置し，同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて，研修等を行う。

取組状況

- (1) 笠岡市人権施策推進委員会
- (2) 笠岡市人権教育推進委員会

- (3) 笠岡市教育集会所運営委員会
- (4) 笠岡市企業等人権問題連絡協議会
- (5) 第 29 回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会

成 果 第 29 回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会では、人権・部落解放文化祭の実施のために、企画・運営に取り組み、人権啓発に努めた。

3 指導者の養成

事業概要 人権担当者等の研修を行う。

- 取組状況
- (1) 行政職員人権問題指導者講座
 - (2) 人権保育研修講座
 - (3) 各種団体指導者研修
 - (4) 笠岡市人権啓発バンク

成 果 行政職員人権問題指導者講座では、国や市の人権施策についての研修や人権啓発ビデオを視聴し、様々な人権問題についての理解を深めた。

課題・方向性

人権問題を一人ひとりの問題として捉え、人権意識の高揚を図るためには、研修や啓発において、市民が理解しやすい内容にすることに努めていく必要がある。

自己評価 B

様々な人権問題の解決について、人権教育推進事業を行い、学校・社会・地域での人権教育の推進を図ったが、参加者を増やすために内容の検討や呼びかけの仕方等工夫する余地がある。また、人権啓発事業等では、高齢者、三世代交流、A L Tを招いての外国人との交流など、様々な問題が取り上げられており、新たな課題とともに身の回りにある問題などを取り上げ、工夫していくことで人権感覚の育成を図っていきたい。

《 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用 》

点検・評価項目	芸術文化活動の普及・振興
担 当 課	生涯学習課

目 標 市民参加による幅広い文化活動と文化施設の活用を促進し、文化を担う人づくりを推進する。

事 務 事 業

1 芸術文化活動の振興及び交流

事業概要 芸術文化活動への積極的な参加を奨励するとともに、心豊かな文化意識の高揚を図る。

取組状況

事業名	平成 27 年度	平成 26 年度
能・狂言体験学習（実施学校数）	6校	7校
名月観賞の夕べ（来場者数）	13会派 500人	14会派 400人
笠岡市菊花展（出品数）	250鉢	250鉢
（来場者数）	2,000人	2,500人
笠岡市芸能祭（来場者数）	13会派 400人	13会派 500人
笠岡市文化祭（出品数）	448点	435点
（来場者数）	2,000人	2,000人
笠岡市児童・生徒美術展（出品数）	523点	546点
（来場者数）	1,400人	1,300人
笠岡市さつき新緑展（出品数）	98鉢	101鉢
（来場者数）	540人	587人
笠岡市写真展（出品数）	134点	137点
（来場者数）	469人	453人
笠岡市美術展（出品数）	174点	177点
（来場者数）	1,000人	1,000人
森田思軒顕彰講演会（来場者数）	60人	62人
笠岡市立図書館（蔵書数）	163,437冊	158,542冊
（貸出冊数）	226,102冊	198,206冊
（利用者数）	54,351人	46,457人
（利用者カード登録者数）	15,439人	14,588人
（来館者数）	65,840人	63,293人

(映画会・読み聞かせ会・ 工作教室等自主事業参 加者数)	1,243人	1,201人
笠岡市立カブトガニ博物館 (入館者数)	61,088人	59,734人
特別展示・特別陳列 (入館者数)	(31,434人)	(29,489人)
内訳 「干潟の生き物～カブトガニの ゆりかご～展」	20,040人	—
「笠岡 今昔物語展」	11,394人	—
笠岡市立竹喬美術館 (入館者数)	15,244人	12,400人
特別展「池田清明展」 (入館者数)	(4,738人)	—
特別展「生誕140記念 上島鳳山と大阪の 画家たち」 (入館者数)	(1,760人)	—
笠岡市井笠鉄道記念館 (入館者数)	4,019人	2,999人

()は内数

成 果 笠岡市文化祭をはじめ、小中学校では能・狂言の体験学習を実施し、児童・生徒の伝統芸能への関心や理解を深めるなど、多数の市民参加による文化振興事業の活性化を図った。

図書館の貸出冊数や利用者数は約1割増となっている。人口比での1日当りの利用も微増となっている。レファレンス件数は横ばいであるが、内容は多岐にわたっており、歴史的・専門的なものになってきている。子ども司書養成講座や、様々な資料展示などを通じて、すべての利用者のニーズに応えられるよう務めた。

カブトガニ博物館においては、特別展示「干潟の生き物～カブトガニのゆりかご～展」、そして、特別陳列「笠岡 今昔物語展」を開催した。これによって、カブトガニと干潟の重要性、そして笠岡にまだ多くのカブトガニが生息していたころを振り返る展示を行うことで年間の入館者数の増加に努めた。

竹喬美術館では、二人の笠岡市出身画家の特別展を開催し多くの来館となった。まず、「池田清明展」では、大阪で教鞭をとりながら活動を続け現代絵画界で高い評価を得ている池田清明の画業を回顧し、「生誕140年 上島鳳山と大阪の画家たち展」では大阪で活動した上島鳳山や同時代の画家を紹介した。

2 文化施設及び文化環境の整備

事業概要 文化活動の拠点となる文化施設の整備及び機能の充実と連携を図り、活力ある文化環境の整備を図る。

取組状況

事業内容	平成 27 年度	平成 26 年度
カプトガニ博物館施設改修事業 シアター機器改修, プロジェクター更新, スタンプ台更新, フェンス改修	5,571 千円	29,346 千円

成果 カプトガニ博物館では、シアター機器の改修、プロジェクター及びスタンプ台の更新など館内設備の改修や展示物の充実を図り、来館者の関心を集め、かつ快適な博物館づくりを行った。

3 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携

事業概要 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と連携を密にし、財団と一体になって地域文化の振興を図る。

取組状況

項目	平成 27 年度	平成 26 年度
笠岡市木山捷平文学選奨（応募者数）	234 人	237 人
※平成 21 年度から短歌・俳句・川柳の小中学生の部を新設	2,376 人	2,354 人
※平成 25 年度から詩・短歌・俳句・川柳の一般の部に高校生特別賞を新設	120 人	120 人
優秀映画鑑賞会（参加者数）	59 人	43 人
文化活動後援事業（後援件数）	102 件	98 件
文化活動賞揚事業（賞揚件数）	10 件 7 人	4 件 3 人
民俗芸能支援事業（補助金）	北川の盆踊りの活動支援	

成果 笠岡市木山捷平文学選奨は第 11 回となり、全国公募の短編小説は 43 都道府県から 234 作品（前年△3 作品）、他部門は 2,496 人（前年+22 人）で、木山捷平の偉業を全国に発信することができた。

また、優秀映画鑑賞会、文化活動の後援、全国大会・中国大会出場者への賞揚、文化特別賞の表彰、伝統文化の活動支援を実施し、地域文化の高揚を図った。

課題・方向性

芸術文化活動は、市民参加による文化活動を推進し文化意識の高揚を図っていく。これを奨励し推進していくために、事業後援を進めていく。民俗芸能支援事業は今後も継続し、市内の伝統文化振興の一助としたい。

文化施設の改修や充実は、これからも計画的に行い展示品の充実を図っていく必要がある。

笠岡市木山捷平文学選奨事業についても、木山捷平の足跡を顕彰し、豊かな市民文化の振興を図っていくために継続していく。

自己評価 A

芸術文化活動については、小中学校で能・狂言の体験学習を実施し、伝統芸能への関心や理解を深めることができた。

カブトガニ博物館や竹喬美術館の特別展など、それぞれの館の役割を認識し、文化活動の拠点となる文化施設としての環境整備に努めていきたい。

平成 25 年度末にオープンした井笠鉄道記念館は、開館から 2 年目で年間約 4,000 人の来館者数を記録し、施設の保存と活用による地域の活性化に貢献することができた。

笠岡市木山捷平文学選奨の応募者数は安定的に推移しており、短編小説賞での応募者も全国的な広がりを見せている。

民俗芸能支援事業は、地域への愛着、郷土愛を育み、地域を愛する子どもを育成することができた。また、団体への支援により、市内の伝統文化の振興を図ることができた。

点検・評価項目

文化財の保護・保存と継承

担 当 課

生涯学習課

目 標 文化財の保護・保存と継承を図るため文化財を調査研究し、保存管理に努める。また、民俗、考古、歴史資料の収集に努め、適切な保護・保存と公開展示に努める。

事 務 事 業

1 文化財の調査研究と啓発・活用

事業概要 (1) 文化財の保護事業

先人から受け継いだ歴史と伝統を守り、後世に伝えるとともに、それを大切に思う風土を育む。そのために、優れた文化財の保護・保存を図る。また、急激な変化や消滅の危機にさらされた文化財を調査し、適切な記録・保存を図る。

(2) カブトガニの保護・増殖事業

笠岡を代表する天然記念物「カブトガニ繁殖地」を維持するために、カブトガニの増殖と繁殖地の保護・啓発活動に取り組む。

(3) 文化財の活用事業

郷土館や長福寺裏山古墳群などの文化財関連施設を管理するとともに、文化財を活用し保護意識の高揚を図る。

取組状況 (1) 文化財の保護事業

史跡「津雲貝塚」保護のための調査事業として、貝塚の範囲確認発掘調査及び過去の出土品調査等を実施した。また、市道拡幅工事に先立つ記録保存の発掘調査として、杉之花散布地の確認調査を実施した。

(2) カブトガニの保護・増殖事業

5月から10月にかけてカブトガニの幼生を約8,000匹を放流した。また、干潟の荒廃を防ぐため、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を行った。繁殖地内のカブトガニ産卵調査で32箇所産卵を確認し、約450匹の幼生を確認した。

(3) 文化財の活用事業

津雲貝塚発掘100周年記念事業として、郷土館企画展「津雲貝塚と縄文文化」(入館者571人)、シンポジウム「津雲貝塚の未来を語る」(来場者約150人)、縄文体験ワークショップ2回、パンフレット作成等を行った。また、文化財めぐりハンドブックを作成して市内小学生全員に配布するとともに、文化財ラリー「笠岡へ愛着を持ち隊」を実施した。結果として162枚の文化財レポートが集まった。

成 果 津雲貝塚の保存に向けて、遺跡現地と過去の出土品の実態解明が進んでいる。また、発掘 100 周年記念事業により、津雲貝塚及び調査事業の重要性を多くの人に伝えることができた。

文化財ラリー企画によって、小学生と保護者に郷土の文化財について関心を持ってもらうことで、郷土への愛着を涵養することができた。

カブトガニ繁殖地周辺においては、平成 21 年度から 7 年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができた。また、平成 26 年にカブトガニの自然産卵の様子を映像に収めた福山大学との共同調査は引き続き継続している。幼生放流と合わせて保護したカブトガニの成体放流行事を行うことができ、カブトガニと繁殖地の保護の成果が現れている。

2 文化財資料の収集・整理

事業概要 笠岡市に関する文化遺産を収集・整理し、後世に伝える。また、その成果を郷土館等で展示し、市民に還元する。

取組状況 歴史資料、古文書等の寄贈が 5 件あった。うち 1 件は、井笠鉄道写真アルバムであったため、写真パネルを作成して井笠鉄道記念館まつりにおいて展示した。受納資料は順次整理し、保管している。

成 果 資料の寄贈・寄託を受け入れることで、文化財の散逸・廃棄を防止することができた。また、展示等で公開・活用することができた。

課題・方向性

津雲貝塚調査事業は、当面継続して実施するので、引き続き多大な労力を裂く必要がある。発掘調査と活用事業との両立が課題となっている。また、所蔵の考古資料、文書資料、民俗資料の数は年々増加しており、今後の管理・活用のために、さらに整理を進めていく必要がある。

カブトガニ保護・増殖のために、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を継続的に行うとともに、カブトガニ保護啓発運動や海岸清掃活動を通して、市民ぐるみで笠岡の海的环境保護に努める必要がある。

自己評価 A

文化財の保護・保存と継承を図るため、引き続き史跡「津雲貝塚」の保存に向けて、調査を継続した。また、津雲貝塚 100 周年記念事業を実施したことにより、今後の保存活用に向けて大きな方向性を示すことができた。

カブトガニ繁殖地周辺において、7 年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができるなど、確実に保護活動が実を結びつつある。

今後も、カブトガニの保護・啓発を通して天然記念物「カブトガニ繁殖地」の保護並びに海的环境保護意識の高揚に努めたい。

《 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上 》

点検・評価項目	生涯スポーツの推進
担当課	スポーツ推進課

目 標 健康で生きがいを持った生活を送るための生涯スポーツ実施者の増加を図る。

事 務 事 業

1 各種スポーツ教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成

事業概要 初心者を対象としたスポーツ教室や誰でも参加できるニュースポーツ大会等を開催して，生涯スポーツの推進を図る。

取組状況 (1) 各種教室・大会の開催

教 室	対 象	平成 27 年度	平成 26 年度
バスケットボール教室	小学生	194 人	192 人
陸上競技教室	小学生	368 人	145 人
レスリング教室(マット教室)	小・中学生	143 人	106 人
バドミントン教室	小4以上	55 人	63 人
卓球教室	小4以上	87 人	142 人
テニス教室	高校生以上	119 人	140 人
親子水泳教室	4歳～小3親子	142 人	112 人
シャフルボード講習会	制限なし	107 人	159 人
幼児スポーツ教室	幼児・園児	74 人	78 人
オリエンテーリング大会	制限なし	104 人	125 人
ニュースポーツ大会 (シャフルボード)	小学生以上	144 人	144 人

(2) 地域スポーツ団体の支援・育成

団 体	平成 27 年度	平成 26 年度
スポーツ少年団	339 人 (14 団)	357 人 (14 団)
総合型スポーツクラブ	337 人 (3 団体)	367 人 (3 団体)

成 果 少子化が進み，スポーツ少年団員数も年々減少している中で，指導者と地域の密接な連携を図り活動することで，団数の確保に繋がっている。また，総合型スポーツクラブや各種教室・大会など市民のニーズに合った事業を展開することで，子どもから高齢者まで生涯スポーツの推進が図られた。

2 スポーツ推進委員活動の充実

事業概要 研修により市民のスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の資質を向上させるとともに、スポーツ推進委員が地域に出向いてニュースポーツ等の指導を行い、生涯スポーツの推進を図る。

取組状況 (1) スポーツ推進委員の研修会開催

事業	平成 27 年度	平成 26 年度
生涯スポーツ推進企画会議	7 回	7 回
実技研修会開催 H26 救急救命講習・カローリング H27 ショートテニス・バウンドテニス・ストライクホーリング・ ディスクゴルフ・キンボール・ショートテニス	2 回	2 回

(2) スポーツ推進委員派遣事業の拡大

事業	平成 27 年度	平成 26 年度
体力テストの実施	1 回	1 回
地域派遣推進事業	62 回 208 人	59 回 78 人

成果 スポーツ推進委員の知識・技能向上のため、全国・中国・県内の研修会へ積極的に参加し、専門的知識と指導力の向上を図った。また、スポーツ推進委員を地域に派遣し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした、健康体操やニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションを推進した。

3 スポーツ情報の提供

事業概要 スポーツに関わる機会の提供を行うため、スポーツカレンダーの作成、市広報、ホームページを利用して、スポーツ団体、スポーツイベントの情報を発信する。

取組状況 (1) スポーツイベント情報の提供

広報、新聞、テレビなどのメディアを使ってスポーツイベントの情報を提供を行った。また、スポーツカレンダーを作成し、体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへの掲載を行った。

(2) スポーツ団体情報の提供

市内で活動するスポーツ団体から収集した情報を情報誌「笠岡市スポーツサークル」にまとめて体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへ掲載した。

成 果 様々な情報提供の形態を確立し、多くの人へのスポーツ情報の提供が可能となった。

課題・方向性

平成 20 年度に実施した「運動・スポーツに関する調査」結果から、「きっかけがあれば何らかのスポーツをしてみたい、考えてみたい」という回答が 8 割を占めている。

特に、体力・健康づくり、スポーツを通じた高齢者の生きがいくりに関する情報の希望が 5 割という状況から、子どもから高齢者まで、生涯にわたりスポーツ活動が実践でき、気軽に参加できる、大会・行事・イベントの情報を提供していく必要がある。

自己評価 B

現在、市内のスポーツ施設の大会情報を取りまとめて情報を発信しているが、公民館等各種団体と連携し、主催する行事・イベント情報を掲載し、生涯スポーツ誌として市民ニーズに沿った充実したものに展開していく必要がある。

点検・評価項目 スポーツ・レクリエーション施設の
整備・充実と活用

担 当 課 スポーツ推進課

目 標 いつでも・どこでも・だれでも快適にスポーツが行える環境を整える。

事 務 事 業

1 施設整備及び充実

事業概要 笠岡総合スポーツ公園内にテニスコート・クラブハウスを整備し、利用者の利便性を図った。

取組状況

事業名	事業費
テニスコート・クラブハウス整備工事	310,313千円

成 果 利用環境の整備を行い、スポーツを始めるきっかけづくりとテニス関係者の大会開催の場の確保に繋がった。

2 利用しやすい環境の整備

事業概要 老朽化した施設や設備の修繕，利用者から要望が出ている事項の改善を行い，快適なスポーツ環境の整備に努める。

取組状況

事業名	事業費
陸上競技場設備器具修繕（ライン引き・ハードル）	203千円
総合体育館メインアリーナ床修繕	65千円
総合体育館設備器材修繕（シート巻取機）	200千円
総合体育館設備器材修繕（トレーニングマシン用コンプレッサー）	72千円

成 果 利用者が快適かつ安心して利用できるようになった。

課題・方向性

整備・充実(大規模改修)すべき施設がまだ多くある。今後計画的に整備を行う。

自己評価 B

大規模改修施設について，緊急かつ効果的な修繕対応を継続して実施する。

点検・評価項目	競技スポーツの推進
担 当 課	スポーツ推進課

目 標 競技スポーツ人口の増加と競技力の向上を図る。

事 務 事 業

1 各種スポーツ大会の開催（主催）

事業概要 練習の目標として、練習の成果確認の場として、あるいは選手相互の研さんの場とするために各種スポーツ大会を開催する。

取組状況 スポーツ大会の開催

大 会 名	平成 27 年度	平成 26 年度
笠岡市民体育大会	1,769 人	1,661 人
べいふあーむ笠岡マラソン大会	2,389 人	2,372 人
カプトガニ駅伝大会	404 人	708 人
子どもソフトボール大会	8 チーム	8 チーム
青少年柔剣道大会	105 人	107 人
バドミントン大会	150 人	174 人

成 果 継続した大会を開催することにより、競技人口の確保が図られた。

2 競技会等の支援

事業概要 競技レベルを向上させる為に実業団やプロスポーツ選手の招へいや大会の支援を行う。

取組状況

競 技 会 名	平成 27 年度	平成 26 年度
べいふあーむ駅伝大会	23 チーム	23 チーム

成 果 べいふあーむ駅伝(実業団)では、全国レベルの実業団駅伝を継続的に笠岡市で行うことで、競技者及び指導者のレベルの向上に繋がっている。

3 スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保

事業概要 全国大会等への出場を促進するため、高度な専門的知識と指導力をもつ指導者の養成と選手のコンディション維持を図るため、トレーニング指導や技術指導を行う機会を提供する。

取組状況

① スポーツ推進委員協議会

日 時	開 催 名
H27. 6. 27～28	中国地区スポーツ推進委員研修会
H27. 7. 25～26	岡山県生涯スポーツ研究大会
H27. 11. 12～13	全国スポーツ推進委員研究協議会
H27. 11. 14	岡山県スポーツ推進委員協議会・備南支部研修会
H28. 2. 21	アクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会
H28. 3. 5	桃スポキッズチャレンジフェスタ

② スポーツ少年団指導者協議会

日 時	開 催 名
H27. 11. 14～15	スポーツ少年団認定員養成講習会 11名

③ 野球教室

日 時	開 催 名
H28. 1. 10	川相昌弘野球教室 指導者12名・子ども48名

④ シーガールズ強化合宿

日 時	開 催 名
H27. 12. 26～30	高等学校及び中学生 強化合宿 17校

成 果 各セッション別の指導者養成講習会等への参加及びアスリート選手からの指導の場を設け、指導者及び選手の技術の向上を図った。

4 優秀選手の表彰

事業概要 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と予選会を経て中国大会・全国大会や国際大会に出場する選手・団体に賞揚金を交付するとともに、全国大会以上の大会に出場の場合は激励会を開催して意気の高揚を図る。

取組状況

<中国大会・全国大会等優秀選手の賞揚>

平成27年度 4団体186人 平成26年度 2団体140人

成 果 賞揚を受けた選手自身のレベルアップと意欲の高揚となるとともに、周辺関係者への刺激ともなり、競技スポーツの推進につながった。

5 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市体育協会等との連携

事業概要 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市体育協会などと連携して各種大

会、選手等の賞揚を行い、より広くスポーツ推進を展開する。

取組状況

- (1) 各種スポーツ大会の運営委託
- (2) 各種スポーツ大会の共催・後援等

大会名	平成 27 年度	平成 26 年度
バレーボール大会（中学生）	4 チーム	4 チーム
少年野球フェスティバル	14 チーム	16 チーム
ソフトテニス大会	184 人	172 人
バレーボール大会（一般）	91 人	105 人
空手道選手権大会	20 人	22 人
ソフトバレーボール大会	151 人	150 人
ゲートボール大会	35 人	40 人
ペタンク大会	150 人	30 人
年齢別卓球大会	194 人	104 人
バドミントン大会	250 人	170 人
グラウンド・ゴルフ大会	217 人	213 人
スポ少ソフトボール交歓大会	8 チーム	8 チーム
剣道大会	400 人	22 人
サッカーフェスティバル	32 チーム	24 チーム
軟式野球大会（中学生）	8 チーム	—
テニス大会（幼稚園・小学生）	200 人	—
柔剣道大会	105 人	—
サッカー大会	64 チーム	—
BMX 大会	150 人	—

- (3) 全国大会出場者（団体）激励会の開催
- (4) 全国大会等功績者の特別表彰

成 果 笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市体育協会等と連携する事により多様な大会を開催し、広くスポーツ推進を展開した。また、多くのスポーツ功労者の賞揚ができ、選手の支援や競技スポーツの振興に寄与した。

課題・方向性

笠岡市文化・スポーツ振興財団、笠岡市体育協会等と密に連携し、①選手への支援、②スポーツ指導者の養成、③大会の開催・誘致に取り組み、競技スポーツの推進を図る必要がある。

自己評価 B

競技スポーツ推進の一環として、大会開催の支援、選手への賞揚等を行い、競技スポーツ全体のレベルアップを図り、スポーツに対する市民意識の高揚に繋がった。

Ⅲ 評価委員の総合評価

松 畑 熙 一 委 員

「平成 27 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」及び関連諸資料の点検に基づいて、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況を見ると、教育委員会での審議内容や施策などへの反映状況が整然と整理されていて、取組の実際が十分理解できるものとなっている。また、本点検・評価の目的として掲げられている「効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくこと」の目的も概ね達成されている。

「笠岡市教育行政重点目標」の主要施策の遂行において、「人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり」の基本理念に基づいて、重点施策毎に目標・指標に基づく達成状況やさらなる課題がかなり具体的に示され、順調な成果を上げつつあることを知ることができ、総合的にみて「概ね達成された」と、高く評価できる。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

- 1 「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」の目標において、「学ぶことの意義を理解し」、「基礎的・活用的な知識及び技能を習得」することを目指すものにしてほしいこと。特に、「学びたい」と思う心である「学びに向かう力」を育てることに努力してほしいこと。
- 2 「確かな学力」育成プロジェクトに関しては、学力状況・学習状況において、共に一定の成果を上げていることは評価されるべきであるが、狭義の学力のみならず、人格形成の核となる学力の育成、学力と人間力の関係を深めることに努力してほしいこと。
- 3 「豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成」については、「温かく豊かな心」が「健やかな体」を創る相関関係を重視し、特に、「外遊び」による自然に触れながら体を動かす体験によって、異年齢間のコミュニケーションによる仲間づくりや創意工夫して遊ぶ体験などにより「遊びを通しての学び」を重視する具体的方策を工夫するようにしてほしいこと。
- 4 「安心して学習できる教育環境づくり」については、「開かれた学校づくり」を推進するとともに、学校づくりの企画段階から参画する「地域住民と創る学校」づくりを更に進め、学校と地域が協働して教育活動を推進する方向へとステップ・アップしてほしい

こと。

- 5 「人権教育の推進」との関係で、「生活困窮家庭の子どもへの学習支援」を進めてほしいこと。特に、全ての子どもにできるだけ共通の教育を受けるための「学習権」の確保のための方策を模索し、不登校や各種問題行動へ傾斜しつつある子どもの実態把握とその原因究明による対応方策を講ずることができるように努力してほしいこと。
- 6 「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」については、家庭・学校・社会の緊密な連携によって推進し、例えば、公民館や学校の空き教室などを活用して、前項の子どもを含めた学習支援を、地域人材が中核となって進める努力をしてほしいこと。
- 7 教育委員・事務局員及び教職員の研修については、できる限り研修成果を共有し、所属部局を越えた相互連携によって互いの資質向上と教育行政・実践活動の改善・充実となるよう努めること。

竹之内 金太 委員

「平成 27 年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づき、教育委員会の活動状況、教育振興基本計画に掲げられた主要施策の達成状況などを、各担当の課から説明を受けた。説明内容、配布された関係する資料は、教育行政施策への取り組み状況が施策ごとに整理され、具体的で分かり易いものであった。新教育委員会制度への対応で、例年以上に業務が多忙となる中、第 6 次笠岡市総合計画実施計画を踏まえ、各項目における課題を明確にして、非常に多岐にわたる継続的な取り組みと新たな教育課題に向けた取り組みを堅実に実行されていることが伺えた。少子高齢化に伴う地域の活力不足を解消するための様々な工夫・アイデアが求められるところ、地域住民の声に耳を傾けながら奔走しておられることは、高く評価できる。評価指標では、「概ね評価できる」との評価項目が多くなっているが、予定以上に目標が達成されている項目もあり、全体的にもっと高い評価が与えられても良いのではないかと思う。

各項目で、気づいた内容について述べる。

1 教育委員会の運営状況および教育委員会が管理・執行する事務については、「笠岡市教育大綱」および「笠岡市教育振興基本計画」などの策定と教育委員会の政策実現のために、極めて精力的に質の高い教育行政を推進していることが伺える。

2 『充実した学校教育が受けられるまち』では、「平成 27 年度岡山県学力状況調査結果」において、正答率で各科目の基礎学力が県平均を上回っていること、および、「自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒が 6 ポイント増えていることなど継続した取り組みの成果が着実に表れていることが分かる。その中で、国語の正答率が県平均を下回る結果となっており、基礎科目である国語で、年度によるバラツキが見られる。各学校での取り組み内容の検証をするなど、今後の課題として取り組む必要を感じる。また、英語教育については、全国的な取り組みが進む中、必要な体制の整備を、スピード感をもって進めるとともに、先進的な事業の取り組みをさらに推進されることを期待する。

様々な教育課題への継続した取り組みにより、児童・生徒は着実に心と体の好ましい成長を遂げていることが分かる。マンネリ化を避け、薬物乱用防止の取り組みなど新たな教育課題にもしっかりと目を向けて、時代のニーズに合った教育活動を家庭と連携してさらに推進することが必要である。そして、直接、児童・生徒に関わる教員の研修については継続性と中身の充実が求められるものであり、毎年検証をしながら進めることが大切である。

3 『学びが人を育てるまち』では、地域の社会教育関係団体の規模が縮小する中、教育

委員会の各団体への助言・支援は、各地域の抱える教育課題を解決するために欠かせない。地域のニーズを的確に把握して、教育課題に対する支援のあり方について、それぞれの地域の状況を踏まえながら、教育委員会がリーダーシップを発揮していただきたい。

4 『歴史を守り文化・芸術を育てるまち』では、笠岡市の所有する文化施設の活用および貴重な文化財の保護・保存と活用により地域の活性化が図られていることは自明のことである。全国的に知名度のある事業もあり、一層のアイデアを凝らした事業の推進・広報活動は地元の活力にもつながるものであり、児童・生徒の心の教育にも重要な役割を担っている。

5 『いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち』では、誰でもが気軽に参加できる市民スポーツの取り組みから、競技力向上を目指す競技スポーツの取り組みまで幅広い対応が期待される。個人のニーズに合わせて行えるような事業の創造と環境整備を更に進めて、生涯スポーツを実践できる市民のさらなる増加に繋げてもらいたい。

大山美智子 委員

「平成 27 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づいた各担当課からの説明を聞き、基本理念「人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり」に向けて、継続的・安定的に取り組むを推進されていることが分かりました。また、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況についても、審議内容やその反映状況がきちんと整理されていると感じました。ただ一つ改善をお願いします。「地教法」の改正に基づき、平成 27 年度より市長と教育委員をメンバーとした総合教育会議が開催されていますが、それについて本報告書には開催日だけが記載されていて、そこでの協議内容や各政策・施策への反映等については記載されていません。今後この会議が大きな役割を果たすのではないかと考えます。ぜひ記述していただきたいと思います。

それでは、各取組の中でいくつか私が感じたことを述べさせていただきます。

1 「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」について

幼児教育では、保幼小連携の接続カリキュラム作成に向けて、保育園・幼稚園・小学校との連携や研修が進められています。今後さらに深まった研修会等が行われると思いますが、「百聞は一見に如かず」と言われように、互いに子どもの姿や現場の様子を公開することで、共通理解が図られ、よりよいカリキュラム作成が進められるのではないかと思います。

県下では、若手教職員の休職や退職さらには不祥事が増えていると聞きます。講師を含めて教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立は絶対に必要なことですが、経験が少なく様々な悩みを抱える若手教職員の相談に乗るなど、精神面での適切な支援も重要だと考えます。多忙な職場において、温かい職場環境づくりや不祥事防止・服務規律の厳正確保などに関する研修等がスムーズに行われるよう教育委員会の役割は重要だと思います。希望に燃え、子どもたちの教育に情熱を捧げる若手教職員の育成を期待します。

CMSによる小中学校の情報発信が積極的に行われています。地域に開かれた学校づくり、保護者や地域との信頼関係を推進するのに大変有効だと思います。幼稚園においても、全市から入園を許可している実態を踏まえると、CMSによる情報発信が必要ではないかと考えます。

近年、夏の暑さは尋常ではありません。笠岡市周辺の市町でも空調設備の整備が進んでいます。笠岡市も平成 27 年度より整備が行われています。快適な空間で学習を進めることは、特別支援教育推進にも関わってとても大切なことだと思います。今後、夏休みの教室利用等も工夫していただき、有効に空調設備の利用を推進していただきたいと思います。また、新給食センターの建設では、様々な難題を乗り越え、計画が着実に進んでいることを喜ばしく思います。予算面で十分な配慮をお願いします。

「自立した子どもの育成」は、学校教育の中だけでできるものではありません。「青少年の健全育成」とも大きく関わっています。放課後や土曜日等の支援、子どもの貧困等の緊要な課題を考えると、福祉関係部署との連携も重要になってくると思います。

2 「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」について

青少年の健全育成について、様々な取組がなされています。特に学校支援地域本部事業では市内8地区に実施され成果を上げています。これは地域の方の教育支援により、子どもたちに豊かな人間性や社会性さらには郷土愛を育む素晴らしい事業だと思います。また、地域の活力の向上にも寄与するものです。近年教師自身が必ずしも生活経験が豊かだとは言えず、子どもたちに教師から地域の良さや文化を伝えることが難しくなっています。地域の方の支援は、ますます重要になってくると思います。市内全部の小中学校での実施を望みます。

3 「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」について

「芸術文化活動の普及・振興」さらに「文化財の保護・保存と継承」では、評価指標Aがついています。様々な芸術文化活動事業や文化財の保護・活用に対して、地道な取組を継続的に推進されていることに敬意を表します。今後、子どもたちによりよい文化にふれる機会をさらに増やし、将来を見据え裾野を広げる努力をお願いします。竹喬美術館等での展示では、子ども向けの解説書の作成を望みます。

4 「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」について

平成27年度から、「スポーツ指導者の養成、トレーナースタッフの確保」が施策として位置づけられています。生涯スポーツの充実・推進と共に、全国大会等への出場レベルでの競技スポーツの推進には、指導者の養成並びにアスリートからの指導が大変重要だと考えます。さらに充実した取組にいただき、笠岡市からレベルの高いスポーツ選手の輩出を期待しています。

IV 資料

平成27年度 教育関係決算総括表

歳入

(単位：千円)

款	27年度 決算見込額A	26年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
12 分担金及び負担金	3,697	3,796	△ 99	△ 2.6
13 使用料及び手数料	51,181	50,263	918	1.8
14 国庫支出金	95,600	157,589	△ 61,989	△ 39.3
15 県支出金	9,510	12,355	△ 2,845	△ 23.0
16 財産収入	152	88	64	72.7
17 寄附金	3,414	12,330	△ 8,916	△ 72.3
18 繰入金	125,356	70,867	54,489	76.9
20 諸収入	100,487	32,998	67,489	204.5
21 市債	804,800	203,800	601,000	294.9
一般財源	1,886,485	1,686,745	199,740	11.8
合計	3,080,682	2,230,831	849,851	38.1

歳出

(単位：千円)

款	27年度 決算見込額A	26年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
01 教育総務費	321,704	235,105	86,599	36.8
02 小学校費	497,047	572,180	△ 75,133	△ 13.1
03 中学校費	336,604	253,308	83,296	32.9
04 幼稚園費	231,316	220,241	11,075	5.0
05 社会教育費	527,806	588,424	△ 60,618	△ 10.3
06 保健体育費	1,166,205	361,573	804,632	222.5
教育関係合計	3,080,682	2,230,831	849,851	38.1

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 決算額	25年度 決算額	26年度 決算額	27年度 決算見込額	対前年比率	備考	
主な経費	児童報償費	決算(千円)	43	38	39	35	35	31	88.6	卒業記念
		1人当たり(円)	85	84	82	83	85	84	98.8	
	消耗品費	決算(千円)	23,637	33,682	25,439	24,753	22,859	40,814	178.6	
			1人当たり(円)	9,126	13,361	10,354	10,665	9,995	18,435	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	758	640	0	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ 移行
			1人当たり(円)	293	254	0	0	0	0	
	燃料費	決算(千円)	3,566	3,941	4,050	4,405	3,783	2,407	63.6	
			1人当たり(円)	1,377	1,563	1,648	1,898	1,654	1,087	
	光熱水費	決算(千円)	30,050	30,240	30,655	31,368	32,469	30,583	94.2	
			1人当たり(円)	11,602	11,995	12,477	13,515	14,197	13,813	
	修繕料	決算(千円)	9,678	10,790	11,736	14,090	12,957	12,719	98.2	
			1人当たり(円)	3,737	4,280	4,777	6,071	5,666	5,745	
	プール維持 管理費	決算(千円)	6,321	6,208	6,529	6,324	6,102	6,283	103.0	
			1人当たり(円)	2,441	2,463	2,657	2,725	2,668	2,838	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	100.0	
			1人当たり(円)	1,042	1,071	1,099	1,163	1,181	1,220	
	図書購入費	決算(千円)	6,552	5,100	8,007	6,354	5,569	5,289	95.0	
			1人当たり(円)	2,530	2,023	3,259	2,738	2,435	2,389	
教材備品 購入費	決算(千円)	8,583	8,738	9,049	17,482	14,962	17,199	115.0	H27～ テレビ、プロジェクター	
		1人当たり(円)	3,314	3,466	3,683	7,532	6,542	7,768		118.7
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	2,163	2,042	2,031	2,061	1,836	1,862	101.4		
		1人当たり(円)	835	810	827	888	803	841		104.7
施設維持 改良工事費	決算(千円)	17,338	21,771	36,909	21,500	18,389	27,991	152.2		
		1人当たり(円)	6,694	8,636	15,022	9,263	8,041	12,643		157.2
学校建設費	決算(千円)	80,972	210,401	118,056	345,323	326,175	213,327	65.4	耐震補強工事	
		1人当たり(円)	31,263	83,459	48,049	148,782	142,621	96,354		67.6
小学校費	合計(千円)	276,192	428,348	334,378	588,366	572,180	497,047	86.9		
		1人当たり(円)	106,638	169,912	136,092	253,497	250,188	224,502		89.7

児童数(人)	2,590	2,521	2,457	2,321	2,287	2,214	96.8
6年生(人)	508	454	473	424	413	369	89.4

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	対前年比率		
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	159	149	155	143	126	136	107.9	卒業記念
		1人当たり(円)	338	330	328	320	323	317	98.1	
	消耗品費	決算(千円)	12,040	11,764	11,894	12,353	12,999	13,272	102.1	
		1人当たり(円)	8,612	8,549	9,059	9,719	10,833	11,461	105.8	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	636	639	0	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ 移行
		1人当たり(円)	455	464	0	0	0	0	0.0	
	燃料費	決算(千円)	1,352	1,192	1,162	1,335	1,234	801	64.9	
		1人当たり(円)	967	866	885	1,050	1,023	692	67.3	
	光熱水費	決算(千円)	16,068	16,732	17,401	18,032	18,668	17,677	94.7	
		1人当たり(円)	11,494	12,160	13,253	14,187	15,557	15,265	98.1	
	修繕料	決算(千円)	5,767	5,799	5,937	7,796	8,418	6,267	74.5	
		1人当たり(円)	4,125	4,214	4,522	6,134	7,015	5,412	77.2	
	プール維持 管理費	決算(千円)	660	831	752	1,130	1,010	1,017	100.7	
		1人当たり(円)	472	604	573	889	842	878	104.3	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,715	107.2	
		1人当たり(円)	1,144	1,163	1,219	1,259	1,333	1,481	111.1	
	図書購入費	決算(千円)	6,049	4,916	7,963	5,006	4,281	3,534	82.6	
		1人当たり(円)	4,327	3,573	6,065	3,939	3,568	3,052	85.5	
	教材備品 購入費	決算(千円)	3,929	4,124	4,176	8,052	6,002	10,859	180.9	H27～ テレビ、プロジェクター
1人当たり(円)		2,810	2,997	3,181	6,335	5,002	9,377	187.5		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,025	1,024	1,045	1,059	944	969	102.7		
	1人当たり(円)	733	744	796	833	787	837	106.4		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	13,182	16,155	13,263	14,370	12,976	14,697	113.3		
	1人当たり(円)	9,429	11,741	10,101	11,306	10,813	12,692	117.4		
学校建設費	決算(千円)	144,949	4,953	199,425	175,202	68,153	152,654	224.0	耐震補強工事 空調設備設置工事	
	1人当たり(円)	103,683	3,600	151,885	137,846	56,794	131,826	232.1		
中学校費	合計(千円)	289,392	149,439	371,862	364,857	253,308	336,604	132.9		
	1人当たり(円)	207,004	108,604	283,216	287,063	211,090	290,677	137.7		

生徒数(人)	1,398	1,376	1,313	1,271	1,200	1,158	96.5
3年生(人)	471	451	473	447	390	429	110.0

※ 生徒数は5/1現在の人数。

◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

幼稚園配当予算

科 目		2 2 年 度	2 3 年 度	2 4 年 度	2 5 年 度	2 6 年 度	2 7 年 度		説 明	
		決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 見 込 額	対 前 年 比 率		
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	293	280	341	305	216	248	114.8		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,859	1,742	1,680	1,782	2,142	1,944	90.8	教師用含む
		1人当たり(円)	6,500	5,826	6,131	6,253	8,176	7,967	97.4	
	燃料費	決算(千円)	803	861	924	899	798	512	64.2	
	食糧費	決算(千円)	10	10	10	10	9	9	100.0	
	印刷製本費	決算(千円)	77	97	75	64	74	62	83.8	
		1人当たり(円)	269	324	274	225	282	254	90.1	
	修繕料	決算(千円)	120	82	84	69	86	137	159.3	
	小計	決算(千円)	2,869	2,792	2,773	2,824	3,109	2,664	85.7	
役務費	通信運搬費	決算(千円)	32	30	29	29	28	27	96.4	
		1人当たり(円)	112	100	106	102	107	111	103.7	
	手数料	決算(千円)	167	172	172	197	173	173	100.0	
小計	決算(千円)	199	202	201	226	201	200	99.5		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	224	791	218	494	987	978	99.1		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	367	366	347	304	317	302	95.3		
	1人当たり(円)	1,283	1,224	1,266	1,067	1,210	1,238	102.3		
計	予算(千円)	3,952	4,431	3,880	4,153	4,830	4,392	90.9		
園児数(人)		286	299	274	285	262	244	93.1		

教育総務課関係

通信運搬費	決算(千円)	820	828	835	710	704	705	100.1	
光熱水費	決算(千円)	2,891	2,967	3,048	2,984	3,139	3,452	110.0	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	100.0	
修繕料	決算(千円)	1,838	1,086	1,876	1,979	1,889	1,818	96.2	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	1,464	19,733	3,000	2,897	2,969	2,470	83.2	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	2,670	4,653	2,009	1,934	1,415	1,678	118.6	
計	決算(千円)	10,783	30,367	11,868	11,604	11,216	11,223	100.1	

※ 園児数は5/1現在の人数。

平成27年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教 育 費 3,080,682	スクールポート運営管理事業	22,019	高島と六島の児童・生徒の通学
	外国語指導助手配置事業	34,020	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手(ALT)を小・中学校に7名配置
	教育活動支援事業	27,459	幼・小・中学校へ非常勤支援員を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	13,094	不登校対策支援事業 (4名配置) 巡回カウンセラー配置事業 (5名配置) 教育相談室 いじめ対策支援員1名 (学校教育課に配置) ほか
	英語教育推進モデル事業	2,037	小学校英語教科化に向け、タブレットPC, 英語教育ソフトウェア, システム等を整備
	営繕関係	56,383	城見小防犯カメラ設置工事, 笠岡西中・新吉中トイレ洋式化ほか
	CMSによる学校ウェブサイト運用事業	311	市内全小・中学校 (小北中舎)
	小学校指導者用デジタル教科書整備事業	6,331	全小学校において、27年度改訂の国語, 算数, 理科, 社会の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	理科観察実験アシスタント配置事業	1,973	笠岡小・中央小・金浦小・大井小に理科支援員2名を配置
	校務支援システム活用事業	4,698	城見小・吉田小・大島小・笠岡小・中央小・金浦小・大井小 笠岡東中・笠岡西中・金浦中・新吉中・大島中に整備 (小北中舎)
	金浦小学校プール改修工事	9,716	金浦小学校プール改修
	通学バス運行委託料	4,035	大島小, 吉田小及び北木小の児童の通学
	校務員配置事業	5,515	幼・小・中学校の校務員業務(草刈・小修繕等)を委託
	図書整備事業	9,801	小学校 (5,289), 中学校(3,534), 幼稚園 (978)
	教材備品整備事業	28,058	小学校 (17,199), 中学校(10,859)
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	39,629	小学校学用品等7,136, 中学校学用品等8,807 給食費23,686
	特別支援教育就学奨励事業	1,793	小学校学用品等279, 中学校学用品等309, 給食費1,205
	小学校における不登校対策実践研究事業	2,518	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援 登校対策支援員3名配置 (笠岡小・中央小・大井小)
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	1,600	フラッシュ型教材を整備, 運用 全教員を対象に研修会を開催
	小・中学校コンピュータ室等活用事業	30,696	小・中学校のコンピュータ室, 特別教室, 全普通教室のコンピュータ・ソフトウェア・その他周辺機器を活用 小・中学校をイントラネットで結び教育ネットワークを活用
	放課後学習サポート事業	1,765	小学校4・5年生, 中学校2年生を中心に, その日の授業に関連した補充学習を, 非常勤講師や教員OB, 地域の識者等を指導者とし, 各学校の実態に応じて週1~2回, 各1時間程度実施
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	1,881	全18小学校区において, 地域の指導者等を講師に, 月2回程度補足的・発展的な学習を実施
	中学校「かさおかサマーチャレンジ学習支援」事業	238	中学生を対象に夏季休業中, 数学及び英語を中心とした家庭学習をサポートする場を提供
	中学校「いきいきチャレンジたいけん」事業	208	市内中学校の2年生が, 学区内の事業所, 施設等で職場体験活動やボランティア体験活動を実施 参加生徒数 422人
	学校施設耐震補強施工監理事業	1,839	吉田小教室棟
	学校施設耐震補強工事	240,962	今井小屋内運動場, 神島外小屋内運動場, 大井小教室棟・屋内運動場, 吉田小教室棟・屋内運動場, 大島東小教室棟, 新山小屋内運動場など
	園・学校施設空調設備設置実施設計事業	5,022	笠岡西中学校, 新吉中学校, 大島中学校, 大井幼稚園, 大島幼稚園
園・学校施設空調設備設置工事	130,668	笠岡東中学校, 金浦中学校, 富岡幼稚園, 横江幼稚園	
笠岡市・矢掛町中学校組合負担金	32,505	屋内運動場非構造部材耐震化工事, 空調設備設置工事实設計業務委託ほか	

平成27年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	幼稚園就園奨励費補助事業	1,540	市立幼稚園保育料減免, 私立幼稚園就園奨励費補助金
	施設型給付負担金	178	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園へ施設型給付費を交付
	幼稚園備品整備事業	1,678	園具・事務用備品の整備
	生涯学習事業	4,955	たくましい笠岡っ子, 放課後子ども教室, 土曜日教育支援事業, 学校支援地域本部, 生涯学習フェスティバル
	成人式	710	開催日 平成28年1月10日 対象者497人 参加者405人
	能・狂言体験学習事業	265	世界無形遺産に指定されている能・狂言に触れることで, 関心や理解を深めるとともに, 豊かな情操を育む
	人権教育自立促進事業	929	教育上配慮を必要とする幼児・児童・生徒の自立を支援
	文化振興事業	1,120	名月観賞の夕べ, 菊花展, 文化祭, 芸能祭, 市写真展, さつき・新緑展, 市美術展, 児童生徒美術展
	木山捷平文学選奨	2,015	第11回木山捷平文学選奨
	津雲貝塚調査事業	2,688	国史跡「津雲貝塚」保存のため, 貝塚の範囲確認を目的とする発掘調査のほか, 自然科学分析, 過去の出土品調査等を実施
	津雲貝塚発掘100周年記念事業	332	シンポジウム, 縄文体験ワークショップなど
	教育相談事業	13,924	児童・生徒及びその保護者等に対して相談, 助言及び援助を実施 相談員4名配置
	北木島宿泊研修事業	3,413	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって行い, 島ならではの宿泊体験学習を提供
	青少年育成地区活動推進事業	882	環境浄化活動, 補導活動, 健全育成活動, 広報啓発活動
	公民館活動助成事業	6,000	地区公民館20館 110事業
	公民館施設整備事業	11,289	空調設置(今井, 金浦, 大井, 神島, 高島), 屋根塗装(北川), 空調改修(城見, 新山), 印刷機(新山), パソコンなど
	市民会館運営事業	29,679	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営を委託
	市民会館設備改修事業	13,966	火災警報設備改修, ホール音響設備改修, 施設用備品購入
	図書館運営事業	56,842	子ども司書養成講座, ブックスタート事業, 児童図書充実事業, 読書貯金通帳配布事業など
	カプトガニ博物館運営事業	65,266	カプトガニ保護対策事業, 大量飼育事業, 特別展など 特別展示「干潟の生き物～カプトガニのゆりかご～」 特別陳列「笠岡今昔物語」
	竹喬美術館運営事業	63,992	特別陳列「竹内栖鳳の系譜」 特別展「池田清明」 特別陳列「画学生 小野春男と父 竹喬」 特別陳列「没後40年 清水比庵展」 特別陳列「山口華楊の滞欧素描と岩倉壽のエスキース」 特別展「生誕140年 上島鳳山展」 特別陳列「竹喬と旅」
	竹喬美術館耐震化事業	6,566	竹喬美術館本館の耐震工事
	真鍋島ふるさとふれあいセンター運営事業	1,955	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	笠岡諸島開発総合センター運営事業	2,957	交流学習・文化活動等を行う場を提供
	スポーツ振興事業	2,771	べいふぁーむ笠岡マラソン, カプトガニ駅伝等
	スポーツライフ推進事業	2,085	スポーツ教室, ニュースポーツ大会, スポーツ推進委員派遣
	ファミリーウォーキング大会	500	ミズノオープンのイベントとして開催されるファミリーウォーキング大会の運営を支援
	インターハイ開催事業負担金	2,654	平成28年度の全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会の開催に伴う負担

平成27年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	体育施設管理事業	27,136	体育施設管理運営委託料 施設予約管理システム運用委託料
	海洋センター管理運営事業	10,118	島しょ部のスポーツ・レクリエーション施設として管理運営
	総合スポーツ公園体育施設 管理運営事業	36,884	笠岡総合体育館，笠岡陸上競技場，多目的広場の管理運営
	テニスコート・クラブハウス 整備事業	310,312	笠岡総合スポーツ公園内にテニスコート及びクラブハウスを整備 砂入り人工芝8面
	学校給食事業	201,702	小学校18校，中学校10校（小北中含む）
	新学校給食センター建設事業	513,096	新学校給食センターの平成30年4月稼働を目指して，専門的な知識に 精通したコンサルタント業者にアドバイザー業務を委託し，事業 者選定を効率的に推進 用地取得：500,777 PFIアドバイザー業務委託：11,950 など

